

令和2年度

# 事業報告書

社会福祉法人

正友会

# 目 次

	頁
I.法人本部	1
II.特別養護老人ホーム満濃荘	
(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業	7
(2) 通所介護事業	19
(3) 居宅介護支援事業	21
(4) その他の事業	23
1.満濃荘老人介護支援センター	2.緊急通報体制事業
3.家族介護者交流事業	4.給食サービス事業
5.生きがい活動支援通所事業	6.おもいやりネットワーク事業
III.特別養護老人ホーム仲南荘	
(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業	26
(2) 通所介護事業	39
(3) その他の事業	41
1.仲南荘老人介護支援センター	2.生きがい活動支援通所事業
3.おもいやりネットワーク事業	
IV.特別養護老人ホームやすらぎ荘	
(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業	43
(2) 通所介護事業	54
(3) 居宅介護支援事業	56
(4) その他の事業	58
1.給食サービス事業	2.生きがい活動支援通所事業
3.ふれあいランド友の会	4.まんのう町琴南高齢者生活福祉センター
V.グループホームよりあい	
(1) 認知症対応型共同生活介護事業	61
(2) 通所介護事業	72
VI.デイサービスセンターおひいさん	
(1) 通所介護事業	74

# I. 法人本部

## I 法人本部

令和2年度は第3期中期経営計画の2年目として、前年度の取り組み結果を踏まえ、具体的な目標を掲げて取り組みました。コロナ禍で予定していた諸行事が中止になる等、年間を通じて計画通りに進まないことが多く、感染予防対策を継続することが最優先となりました。そのような中であっても、今できることは何かを職員が共に考え、ご利用者へのケアの向上に注力しました。

### □私たちの職員

年間を通じて採用活動を進め、新たな職員が加わりました。また、施設の機能訓練を担うセラピストの配置が叶い、多職種連携の効果が少しずつ見えてきています。

指導職である主任に求められる行動を文書化し、上司が定期的に面談する仕組みを新たに作りました。また主任だけでなく職員がそれぞれにサポートしあえる方法を検討しました。

外国人労働者として留学生・技能実習生を積極的に受け入れました。今年度受入れ予定者はコロナの影響で入国が遅れましたが、少しずつ日本での生活にも慣れ、日本語と介護の仕事の習得をすすめました。

### □私たちのサービス

年間通じてノーリフティングケアの充実を図りました。内部制度であるポジショニング基礎研修のチェックリストを基に、OJTをはじめ研修機会を持ち、技術の向上を目指しました。また労働安全衛生の観点から、日頃のケアのあり方を見直し、福祉用具やリフトを有効に活用できる方法を検討しました。

毎年継続して実施してきたご利用者アンケートは感染症対策の現状をお伝えし、ご家族のご意見を伺う内容に変更して実施しました。

ご家族の面会のあり方について、感染者の動向を注視しながら慎重に検討を重ねました。オンライン面会の準備を進め、感染拡大期に活用をしました。また、県内の状況が落ち着いた時期には限定的に面会を再開しました。久しぶりにご家族と言葉を交わされるご利用者の姿は、職員にとっても喜びを感じる場面となりました。

栄養士が中心となり、嚥下調整食を年間通じて検討しました。入所者の平均介護度が上がる中、調理に工夫が必要な方に適した食事を提供できるよう、協力会社の理解と協力をいただき、試行錯誤を続けました。管理監督者向けの研修を企画実施し、職員向けには動画を作成して取り組み内容を伝えました。

### □私たちの地域

夏のお祭りをはじめ、カフェやお茶会、ご利用者と接するボランティアの受入れ等、諸行事のほとんどが中止になり、地域に向けた取り組みは限定的なものとなりました。そのような中でフードドライブの呼びかけを職員に行い、家庭にあるものを持ち寄りました。他法人主催の企画も含めて3回実施し、毎回多くの食料品が集まりました。地域の社会福祉協議会にお届けし、生活に困難を抱えている方の役に立ていただきました。

地域の方々が施設に来ていただくことは難しい状況のため、外部講師として大学へ出向いて行ったり、公民館主催の介護教室に参加し、活動しました。



□ 私たちの組織

社会環境が大きく変化する中で、法人内の情報共有を円滑に進めるため、インターネットを活用した方法を試験的に導入しました。効率的に会議資料を作成し、共有することができています。またオンライン会議にもチャレンジし、管理監督者が限られた時間を有効に用いることができました。一方議論を中心とした会議は対面がよく、それぞれの長所短所をとらえて、仕組みにしていく必要があります。

職員の外部研修や採用活動の方法も同様に変化しました。スキルアップのための県外研修はオンライン研修が主体となり、動画視聴の機会が増えました。効果的な研修受講の方法の検討が課題として残りました。

働きやすい職場を目指して、職員の休憩時間を見直しました。職員意識調査結果から課題として掲げ、昼休みの取り方を法人全体で共有しました。それぞれの部署に応じて工夫をすることで、一定の休憩時間を確保することを組織として進めました。

法人委員会

◇ 研修委員会

- ・実務につながる研修内容を考え、振り返りシートを作成して運用しました。
- ・施設に求められている研修は統一した資料を活用し、法人全体で同じ情報を周知できました。

◇ サービス向上委員会

- ・ご家族の面会の機会が限られ、直接ご意見を伺うことが減少しました。ご意見として伺ったことは委員会として共有し、見直しを行いました。
- ・ボランティアの方々へのアンケートも受け入れができず、実施を見送りました。

◇ リスクマネジメント委員会

- ・事故防止の啓発としてヒヤリハット報告の意義を共有し、積極的に報告するよう働きかけを行いました。
- ・業務省力化の観点から事故報告書様式を見直し、次年度から使用できるようにしました。

◇ 地域福祉委員会

- ・定例の地域行事は感染症対策のため中止となりましたが、生活に困難を抱える方々へのフードドライブ活動を進めました。職員向けの案内や呼びかけを委員会として行い、地域の社会福祉協議会へメンバーが食料品を持参しました。届けていただいた後の報告もいただき、役に立てたことがやりがいにつながりました。
- ・今までに実施してきた地域活動を動画にし、職員の意識啓発を図りました。

◇ ポジショニング委員会

- ・基礎評価マニュアルに沿って施設ごとに研修をすすめました。また、状況確認シートを用いて毎月取り組み状況を確認し、事故やヒヤリハット報告も共有しました。
- ・年間を通じて褥瘡の早期発見、原因分析を行い、施設ごとに対応をすすめました。

◇ 広報委員会

- ・感染症対策の中、写真や記事にも工夫が必要となりましたが、特別な行事でなくても、施設での何気ない日常を発信することの価値に気づけました。
- ・ホームページのレイアウトを一部変更し、必要な情報にアクセスしやすいよう改善しました。

新卒採用推進チーム

- ・年度前半に予定していた合同説明会は感染症予防のため中止となり、学生との接点が大幅に減少しました。また、法人説明会も学生に施設の雰囲気を感じてもらう機会が制限されました。
- ・外部環境が大きく変化する中、インターネットを通じたPR動画を作成したり、オンライン説明会に参加するなど、新たな採用方法を模索しました。

研修制度検討チーム

- ・職員の育成と定着に向けて話し合いを重ねました。外部機関の助言をいただきながら、取り組むべき課題を明らかにしました。
- ・チームのとりまとめを担っている主任を対象としたフォロー面談の仕組みを構築しました。次年度から実施するため、実際のフォローにあたる課長職へ説明を行い、認識を共有しました。

役員会等会議開催状況

日付	内容	出席者
5月15日	公認会計士会計監査	岸上会計事務所3名、職員4名
5月22日	監事監査	監事2名、職員3名
5月28日	理事会	理事7名、監事2名
6月18日	苦情解決第三者委員会	書面報告
6月22日	評議員会	書面決議
9月9日	理事会	理事7名、監事2名
11月18日	苦情解決第三者委員会	第三者委員3名、職員8名
11月24日	公認会計士会計監査	岸上会計事務所3名、職員4名
12月11日	理事会	理事7名、監事2名
3月17日	理事会	理事7名、監事2名
3月30日	評議員会	評議員8名、監事2名、理事1名

月日	研修内容	参加人員	テーマ(講師)など
4月1日	新入職員研修	8	知愛一如手帳を使用して法人が大切にしていることを話し合い、確認した。これからの目標について考える時間とした。
4月2,3,7日	人事考課制度研修	30	下半期の人事考課を行うにあたり、考課者が法人の人事制度を改めて確認した。また2月に実施した「伝え方」研修の振り返りと部下が受講した「仕事の受け方・報告の仕方」研修の内容から実務につなげられるよう考える機会とした。
4月30日	新規採用者フォローアップ研修	6	新入職員が定期的に集まり、自身の成長が確認できる機会とした。先輩職員からのアドバイスを受け、不安の解消や次月への課題を見出すことにつなげた。社会人マナーの基礎や認知症のDVDを試聴し人と関わっていく上での大切なことを学ぶ時間とした。
5月28日		7	
6月30日		7	
8月26日	2年目職員研修	6	今までの経験を活かし、さらに成長するためにはどのような目標を立て、具体的に行動するのかを考える機会とした。
8月26日	嚥下調整食についての取り組み 管理監督職向け研修	11	食形態を「学会分類2013」に即したものとし、ご利用者の状態に合わせた食事を提供していくために、ニュートリ-株式会社 の蒲原康太様をお招きし、施設の現状を織り交ぜて説明していただき、今後の法人の方向性を確認する場とした。
10月1日	新規採用者フォローアップ研修	6	入社半年を振り返り、自分の成長を確認した。また先輩からのアドバイスを聞くことにより年度後半の課題を明確にした。
10月5,6日	人事考課制度研修	17	上半期の人事考課を行うにあたり、考課者が法人の人事制度を改めて確認した。評価項目について意見交換する場とした。
10月28日	エルダー継続研修	6	エルダーとしてどのように関わってきたかを振り返り、困っていることや悩みなどを話し合い、共有した。また後期の課題を考える機会とした。
12月5日	内定者研修	2	内定式終了後に、内定者が社会人として、また本採用になることを自覚する目的で行った。法人内の施設を見学して法人事業の理解を深める機会とした。
12月16日	中堅職員研修①	9	今の自分の現状を見つめ直し、中堅職員に向けてステップアップするために求められていることを理解し現場に活かすための意見交換をした。これからの課題について再認識した。
1月27日	新規採用者フォローアップ研修 (プラスワン)	4	コロナ禍で外部研修もご利用者のご家族や地域の方々との関わりが持てていない状況のためプラスワン研修として集まる機会を持った。セルフマネジメントについて学ぶ時間とした。
1月28日	中堅職員研修②	18	講師にストロングポイント株式会社の坂田嵩佳様をお招きし、チームの機能をより向上させるため必要なスキルとして「仕事の教え方」のトレーニングを行った。
3月16日	新エルダー研修	2	新しくエルダーとなる職員が、エルダー制度について理解し、新入職員との接し方を学んだ。
3月23日	新規採用者研修(合同)	2	新入職員が介護職員としての基本姿勢と法人組織の一員としての意識を持てるよう実施した。車椅子の操作や食事、排泄ケア、ノーリフティングケアについて学んだ。
3月24日	監督職研修	24	講師に産業カウンセラーの國村博子氏をお招きし、お互いが気持ち良く働ける職場づくりをテーマに実施。ハラスメントを起こさないために必要なことや傾聴について学ぶ時間とした。

職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
5月14日	香川県経営協監事会	高松		理事長	長谷川智一
6月10日	まんのう町社会福祉協議会理事会・共同募金委員会運営委員会	まんのう		理事長	長谷川智一
6月11日	まんのう町生活支援体制整備事業第1層協議体会議	〃		理事長	長谷川智一
6月25日	まんのう町地域包括運営協議会・地域密着型サービス運営委員会・策定委員会	〃		理事長	長谷川智一
7月3日	四国経営品質協議会定例会	高松		事務局長	丸畑 望
7月28日	主任・係長・リーダー職育成セミナー	オンライン		総務部長	合田香織
8月21日	新型コロナウイルス感染症対応力向上研修会(管理者向け)	〃		事務局長	丸畑 望
9月11日	社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染症対応研修会	〃		総務部長	合田香織
9月23日	コロナ時代の人材確保セミナー(初めてのオンライン面接・多様な人材の活用支援)	〃		総務部長	合田香織
9月24日	まんのう町生活支援体制整備事業第1層協議体会議	まんのう		理事長	長谷川智一
〃	コロナ禍における新たな採用×定着セミナー	オンライン		事務局長	丸畑 望
10月9日	香川県経営協理事会	高松		理事長	長谷川智一
10月14日	四国経営品質協議会定例会	〃		総務部長	合田香織
10月22日	まんのう町高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会	まんのう		理事長	長谷川智一
10月27日	介護保険事業の健全化対策検討会議	〃		理事長	長谷川智一
〃	まんのう町・琴平町・正友会関係協議会	琴平		本部長	中川芳栄
〃	〃	〃		事務局次長	植野哲男
10月28日	四国経営品質協議会幹事会・定例会	高松		事務局長	丸畑 望
11月16日	まんのう町社会福祉協議会理事会	まんのう		理事長	長谷川智一
11月19日	まんのう町生活支援体制整備事業第1層協議体会議	〃		理事長	長谷川智一
11月26日	社会福祉法人研修会	オンライン		事務局長	丸畑 望
11月27日	まんのう町高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会	まんのう		理事長	長谷川智一
12月8日	人材育成セミナー	オンライン		事務局長	丸畑 望
12月14日	人権問題研修講演会	〃		総務部長	合田香織
1月14日	まんのう町高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会	まんのう		理事長	長谷川智一
1月28日	外国人介護人材受入研修会	高松		総務部長	合田香織
2月12日	香川県経営協理事会	〃		理事長	長谷川智一
2月22日	中讃保健福祉圏域内連絡会	オンライン		理事長	長谷川智一
3月2日	経営幹部育成セミナー	〃		本部長	中川芳栄
3月9日	香川県経営協理事会・総会	高松		理事長	長谷川智一
3月17日	まんのう町社会福祉協議会理事会・共同募金委員会運営委員会	まんのう		理事長	長谷川智一
3月18日	まんのう町生活支援体制整備事業第1層協議体会議	〃		理事長	長谷川智一
3月19日	四国経営品質協議会定例会	高松		事務局長	丸畑 望
3月22日	就職フェアに向けた採用力向上セミナー	オンライン		総務部長	合田香織
3月24日	認知症カフェ事業相談員等連絡会	まんのう		事務局次長	植野哲男

職員採用説明会

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
8月26日	かがわーくフェア(夏の就職面接会)	高松		総務部長	合田香織
10月17日	オンライン就職説明会・面接会(ハイブリッド型)	〃		総務部長	合田香織
3月1日	リクナビ 企業&仕事万博2022	〃		総務部長	合田香織
3月9日	かがわーくフェア(春の就職面接会&企業説明会)	〃		総務部長	合田香織
3月26日	福祉の仕事サポートフェア	〃		総務部長	合田香織

まんまんカフェおよりさん 令和2年度 実績

毎月第4土曜日 13:30~15:30 会場…よりあいデイサービスフロア (参加人数にはボランティアも含む)

開催日	担当	参加者数	参加職員	内容
10月24日(土)	よりあい	9	5	感染症対策(手洗い等)、感染期における特殊詐欺の注意点
11月28日(土)	仲南荘	6	3	冬季の脱水・乾燥注意点、作品作り(染物体験)
12月19日(土)	やすらぎ荘	6	4	認知機能検査、感染期における年末年始の過ごし方とマスク着用の仕方

※毎月開催予定でしたが、感染症対策にて3回の実施となりました。

地域との交流

開催日	対象者	人数	参加職員	内容
11月24日(火)	仲南小学校3年生	40	5	「まんのう町社会福祉協議会共同による 高齢者疑似体験学習」 会場: 仲南小学校体育館 高齢者疑似体験(正友会担当)、車椅子体験(まんのう協担当)
5月中	まんのう町・琴平町の 地域住民(新型コロナ ウイルス等による 食料の生活支援)	全施設	全職員対象	フードドライブ 新型コロナウイルス等で、生活に困っている方への生活・食糧支援として
9月中	まんのう町・琴平町の 地域住民(新型コロナ ウイルス等による 食料の生活支援)	全施設	全職員対象	フードドライブ 新型コロナウイルス等で、生活に困っている方への生活・食糧支援として
11月20日(金)	ボランティアグループ オリーブ清掃活動	7	1	グループホームよりあいの環境清掃活動ボランティア受入れ

## Ⅱ. 特別養護老人ホーム

満 濃 荘

(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業

これまで経験したことのない、感染対応を常に考えながら事業を行っていく1年になりました。その中で、ご利用者・ご家族・地域の方々に私たちに何ができるのかを考えさせられました。情報を正確に判断し、正しい情報で話し合っていくことに気を付けていきました。

**介護老人福祉施設**

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ノーリフティングケアを実施するために、まずは職員が項目ごとに見直しや確認を行うこととしマルチグローブ・体位移動・起き上がり・寝返りについては実施することができました。
- ・感染症の流行により面会制限をすることになり精神的に不安定な状態のご利用者には少しでも気分転換ができるように声をかけたり話を聞くようにしました。またご家族にも状態報告を早めに行うようにしましたが、どのような生活をしているかと心配される声も聞かれ情報を充分にお伝えすることができませんでした。
- ・自立支援を基本としながら、ご利用者の状態に合わせて見守りや介助を行いました。

2. 健康と機能維持に向けた関わり

- ・医務間だけでなく他の職種間からも情報を得て、体調変化に早く気づき主治医やご家族にも早く対応できるようにしました。
- ・ご利用者の体調に合わせて個々の残存機能を少しでも維持できるように個別に訓練を行いました。

3. 食生活の充実

- ・感染症の流行により、行事ができない中でも行事食の提供や献立に旬の食材を使用することで季節を感じていただける食事が提供できました。
- ・ご利用者の咀嚼・嚥下状態に応じた食事形態や食器を検討しました。食事量や体重が減少している方には食事形態の見直しや栄養補助食品の提供を行いました。
- ・定期的に厨房内の設備面の不備がないか、清掃が行き届いているか等を確認しました。協力会社と連携し衛生管理を行い、異物混入等なく安全に食事が提供できました。

4. 適切な相談支援

- ・ご利用者、ご家族の意向を確認し、ケアの方向性や課題解決に向けた話し合いを多職種で行い、ケアプランを作成しました。しかしその後の情報共有が行きわたらず、統一したケアの提供が不十分なことがありました。
- ・終末期においてはご利用者の状態についてご家族と共有し、サービスに関する要望、不安な点等を伺い、ご利用者の立場に立って話し合うことができました。
- ・感染症の流行の影響で面会制限や行事の中止等もあり、ご家族との対話の機会も少なくなりました。ご家族からの問い合わせやこちらからの連絡の際に、用件だけでなくご利用者の様子もお伝えできれば良かったです。
- ・入所申込時やサービス利用前の施設見学についても、感染予防の為ご案内できず、施設内で

の生活の伝え方に気をつけていきました。

#### 5. 積極的な地域社会との交流

- ・感染症の流行により、ボランティアの受け入れ停止、施設行事や認知症カフェの中止等、地域の方々と関わる機会が少なく交流を深めることができませんでした。そのため、地域の一員として地域と繋がることの大切さを施設内で共有しました。

#### 6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・働きやすい職場にするために対話の機会を意識して持つよう目標を設定しましたが、常に意識しながら取り組むことはできませんでした。
- ・日々の忙しさの中、失敗することもあります。その機会を成長につなげるために意図的に活用することができませんでした。
- ・職員一人ひとりの表情を見ながら、早めに声掛けを行うことは意識することができ、困りごとや悩みを相談しやすい関係づくりに気をつけていきました。

#### 7. 令和2年度委員会活動

##### ◇研修委員会

- ・各委員会と連携を取り年間計画に沿って研修の実施ができました。また今年度から集計したアンケートに寄せられた疑問点に答え、後日各部署に周知するようにしました。アンケートの回収率が低かったのが課題です。

##### ◇リスクマネジメント委員会（事故防止・感染予防）

- ・ヒヤリハット研修を11月、2月に実施しました。ヒヤリハット報告件数は後半になるにつれ低下しました。事故のモニタリングは各部署でできています。
- ・非常用持ち出し品について整備できました。
- ・事故のモニタリングは事故報告書の原本を各部署で保管し、モニタリングを行うように変更しました。それによりパソコン入力時間が減少し、情報が早く回覧できるようになりました。

##### ◇感染予防対策委員会

- ・計画されていた研修を実施することができました。インフルエンザ発症者（ご利用者・職員）はいませんでした。風邪症状のあるご利用者が1月中旬より数名、1つのユニットで発症しました。居室対応や湿温管理、風邪薬服用等の処置にて、状態は落ち着きました。コロナ感染対応として従来から行っている手洗い、うがい、手指消毒の徹底、3密の回避、こまめな換気について注意喚起していきました。

##### ◇サービス向上委員会

- ・感染症の流行の影響で面会制限がありご意見が少なくなりました。いただいたご意見は各部署で検討し対応を継続しました。施設のご利用者アンケートは感染症に対する内容に変更し



ました。

- ・ご利用者の安心・安全に配慮し、現状に即したマニュアルになっているかを確認し、更新しました。

#### ◇広報委員会

- ・広報誌は発行する時期を予定変更し、6月と12月に無事発行することができました。
- ・ホームページの窓は更新が遅れたり更新できていない月もあり、十分に行えませんでした。

#### ◇身体拘束廃止委員会

- ・情報共有のシステムを活用し、多職種とご利用者の生活課題の情報を共有しました。ご利用者の生活課題について、各部署との話し合いまでの流れを周知しました。
- ・年2回の研修を行い、身体拘束廃止についての知識を周知しました。

#### ◇ポジショニング委員会(褥瘡予防委員会)

- ・各部署と連携しながら、褥瘡になる手前で発見し、ケアの見直しを行いながら早期対応を行いました。
- ・ノーリフティングケアが行えるように、研修を実施し、ご利用者に合ったケアを実施することができました。

#### ◇地域福祉委員会

- ・感染症の影響の為、施設の行事も行えず、地域行事の開催もなく、参加も行うことができませんでした。
- ・今後の活動に繋げる為の地域活動参加の動画を作成し、全職員に閲覧してもらい周知を行いました。

#### ◇衛生委員会

- ・腰痛アンケートを行い、腰痛につながる動作への注意喚起を行いました。所見のある職員はかかりつけ医の診察を受け、腰痛の原因や持病について確認し、それぞれに合った対応をしました。
- ・ストレスチェックと職員健康診断は予定通り実施できました。ストレスチェックの結果をもとに意見交換することはできませんでした。
- ・施設内外の危険個所の点検はできませんでしたが、危険が予測される業務について意見交換を行い、改善することができました。
- ・職員の健康や注意喚起事項などを毎月周知することができ意識づけができました。

#### ◇安全委員会

- ・特定行為業務従事者の喀痰吸引等の実技研修を年間で計画を立てて実施していましたが、後半は、時間が取れず行うことができませんでした。

◇給食委員会

- ・ご利用者の嚥下・咀嚼機能に合わせた食事が提供できるよう食事形態を見直し、協力会社と共に食事の提供に取り組みました。またムース食を使用し、見た目にも配慮した食事が提供できました。
- ・食事に関する意見・情報交換を行い、献立内容の見直しや調理法・提供方法の変更等を協議しました。

施設利用状況

	入所	退所					月間 空床率	延べ利用者数
		死亡		長期入 院	施設間 移動	計		
		施設内	病院					
4月	1	0	1	0	0	1	5.3	2393
5月	2	0	0	3	0	3	5.3	2470
6月	4	3	0	1	0	4	6.2	2380
7月	2	1	0	0	0	1	4.1	2465
8月	2	1	1	1	0	3	6.8	2467
9月	3	1	1	0	0	2	7.5	2373
10月	0	0	0	0	0	0	6.5	2480
11月	3	1	1	0	0	2	5.4	2390
12月	3	4	0	0	0	4	5	2490
1月	3	1	1	1	0	3	6.4	2487
2月	0	0	0	1	0	1	3.1	2240
3月	4	2	0	2	0	4	4.9	2422
計	27	14	5	9	0	28		29057

介護度別	令和2年度末				年間延べ利用者数
	介護度	男	女	計	
要介護 1	0	2	2	2.5	730
要介護 2	0	1	1	1.3	729
要介護 3	13	20	33	41.8	10842
要介護 4	7	22	29	36.7	10606
要介護 5	3	11	14	17.7	6150
計	23	56	79	100	29057
平均			3.7		

市町別	令和2年度末	年間	
	利用者数	入所数	退所数
まんのう町	65	18	28
丸亀市	2	1	0
善通寺市	1	0	0
三豊市	2	2	0
琴平町	6	4	0
高松市	2	2	0
姫路市	1	0	0
計	79	27	28

外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
入院	22	34	12	16	14	35	23	45	38	96	90	87

年齢分布

年齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男性	0	3	13	6	1	23	85.6	103	73
女性	0	3	25	24	4	56	90.3	102	74
計	0	6	38	30	5	79	89.0		

認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
人数	0	2	7	24	21	8	16	1

入所平均在所期間

男性	2年4か月
女性	4年
全体	3年6か月

診療科別往診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	7	5	7	7	6	8	7	6	7	7	4	10	81
整形外科	2	2	4	2	2	2	1	2	4	1	2	2	26
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
歯科	5	4	4	5	5	5	5	4	4	4	4	5	54
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	17	14	18	17	16	18	16	15	18	15	13	20	197

診療科別受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	19	16	8	15	14	15	10	11	11	14	18	23	174
整形外科	2	0	3	3	6	3	3	1	1	0	0	1	23
耳鼻咽喉科	1	0	0	0	0	1	5	2	1	0	0	0	10
眼科	1	0	4	2	2	5	1	0	1	1	1	0	18
歯科	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	4
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	1	0	2	2	2	0	1	1	0	1	0	0	10
泌尿器科	0	0	0	0	1	2	1	0	2	1	1	0	8
脳神経外科	0	2	3	2	1	2	0	1	0	0	1	0	12
精神科	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4
合計	24	20	21	26	26	29	21	17	16	17	22	24	263

リハビリテーション実施状況

種目	ホットパック	マイクロ波	ハドマー	足マッサージ器	マッサージチェア	平行棒歩行訓練	杖・歩行器歩行訓練	肋木運動	滑車運動	生活リハビリ	RO時体操	おしぼり巻き等作業	関節可動域訓練	立位保持訓練
対象者数	29	4	29	2	1	10	2	1	23	0	0	9	6	2
種目	重錘運動	筋力抵抗運動	座位保持訓練	階段昇降	バランス運動	脳トレ	ポジショニング							
対象者数	6	7	1	1	2	1	2							

食事形態の状況

	普通食	きざみ食	やわらか食	ミキサー食	経管栄養	合計
令和2年度末	12	20	27	14	6	79

栄養マネジメント実施者数

	低リスク	中リスク	高リスク	合計
令和2年度末	50	7	0	57

## 職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
5月29日	香川県社会福祉法人経営青年会 監事会	高松市		施設長	栗田 猛
7月9日	まんのう町内介護保険施設等意見交換会	まんのう町		施設長	栗田 猛
7月10日	感染症対策研修会	丸亀市		看護課長	中村広子
7月13日	中讃地域主任介護支援専門員連絡勉強会	丸亀市		居宅支援課長	小亀育枝
7月30日	香川県社会福祉法人経営青年会 理事会	高松市		施設長	栗田 猛
8月21日	新型コロナウイルス感染症対策対応力向上研修会	オンライン		施設長	栗田 猛
8月26日	難病患者支援従事者研修会	丸亀市		介護支援専門員	谷口雅宣
9月11日	社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染症対応研修会	オンライン		介護支援専門員	山下智美
9月24日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	高松市		介護支援専門員	山下智美
10月2日・7日・14日・17日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	高松市		介護支援専門員	山下智美
10月8日	ケアプラン研修会	まんのう町		介護支援専門員	片岡寿子
10月15～29日	指導的職員(チームリーダー)研修会	オンライン		主任介護職員	津山浩二
10月15～29日	指導的職員(チームリーダー)研修会	オンライン		主任介護職員	細川知史
10月21日	危険物取扱者保安講習	善通寺市		機能訓練指導員	中浦雅夫
10月26日	喀痰吸引等研修事業指導看護師フォローアップ研修	高松市		看護職員	森本美香
10月27日	香川おもいやりネットワーク事業 担当者連絡会	オンライン		施設長	栗田 猛
10月29日・11月5日・14日・17日・25日・28日	介護支援専門員 実務・再・更新研修	高松市		通所主任	加藤玲子
11月2日・21日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	高松市		統括課長	小嶺 輝
11月5日	香川県社会福祉法人経営青年会 研修会	高松市		施設長	栗田 猛
11月13日	中讃地域主任介護支援専門員連絡勉強会	オンライン		居宅支援課長	小亀育枝
12月7日	終活と成年後見制度講演会	オンライン		主任生活相談員	前田一樹
12月9日	まんのう地区 法テラス香川 地方協議会	まんのう町		施設長	栗田 猛
12月10日	ケアプラン研修会	まんのう町		介護支援専門員	片岡寿子
12月11日・24日・26日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	高松市		統括課長	小嶺 輝
12月18日	香川県災害派遣チーム(DWAT)情報共有会議	高松市		施設長	栗田 猛
1月16日～20日	特別養護老人ホーム法寿苑 応援派遣	高松市		介護職員	濱崎光也
1月21日	四国経営品質協議会 定例会	高松市		施設長	栗田 猛
1月22日	外国人介護人材受入施設職員研修	オンライン		主任介護職員	山元郁美
2月20日・24日・3月2日・18日・24日・27日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	高松市		通所センター長	久保潤修
3月10日	社会福祉施設等職員採用内定者研修会	オンライン		介護職員	松井 咲
3月11日	香川県社会福祉法人経営青年会 理事会・総会	高松市		施設長	栗田 猛
3月11日	福祉関係者が知っておきたい「任意後見制度」セミナー	オンライン		居宅支援課長	谷口雅宣
3月22日	災害派遣福祉チームリーダー養成等研修	オンライン		施設長	栗田 猛
3月22日	成年後見制度基礎研修	オンライン		介護支援専門員	長尾めぐみ

## 施設内研修等(防災訓練を含む)

月 日	研修内容	参加人員	講師
5月	認知症研修	全職員	研修委員会
6月	手洗い・食中毒研修	全職員	感染予防委員会
6～7月	緊急時対応研修	介護職員	研修委員会
7月	褥瘡予防研修	全職員	褥瘡予防委員会
9月	身体拘束廃止研修	全職員	各部署長・ユニット主任
9月	嘔吐物処理研修	介護職員	各ユニット主任
10月	MRSA・疥癬・インフルエンザ研修	全職員	感染予防委員会
10/26～29	AED・心肺蘇生研修	63	研修委員会
11月	事故防止研修	全職員	リスクマネジメント委員会
11月5日	シェイクアウト訓練	55	統括課長
12月	虐待防止研修	全職員	身体拘束委員会
12月	介護保険制度研修	介護職員	生活相談員
1月	苦情対応研修	全職員	サービス向上委員会
2月	危険予知研修	全職員	リスクマネジメント委員会
3月	ターミナルケア研修	介護職員	研修委員会
3月	プライバシー・個人情報保護研修	全職員	研修委員会
3月29日	夜間想定防災訓練	20	防災管理者(施設長)

## 実習等受け入れ状況

実習者名(団体名)	期間	実人員	延日数
四国医療福祉専門学校	9月1日～10月1日	1	20
穴吹パティシエ福祉カレッジ	10月12日～10月15日	2	4
穴吹パティシエ福祉カレッジ	10月26日～12月4日	2	15
香川短期大学	11月2日～11月6日	3	5
穴吹パティシエ福祉カレッジ	11月9日～12月6日	1	15
穴吹パティシエ福祉カレッジ	2月3日～2月5日	2	3

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

事業	件数
施設(特養・GH・短期)	356
在宅(通所・居支・その他)	36
計	392

②発生場所別

場所	件数
居室	145
廊下	23
浴室	30
脱衣室	22
ホール	92
トイレ	33
食堂	1
玄関	2
施設外	19
その他	25
計	392

③事故内容別

事故の内容	件数
転倒	83
転落	45
誤飲・誤嚥	1
異食	1
服薬管理	17
自傷行為	0
徘徊	3
入所者間トラブル	0
器物損壊	23
皮下出血	95
紛失	1
金銭管理の事故	0
経管自己抜去	0
送迎・移送中の事故	2
職員の介助中の事故	5
私物返し忘れ	11
表皮剥離	55
その他	50
計	392

④発生時間帯別

時間帯	件数	
朝	8時 ~ 10時	57
	10時 ~ 12時	82
昼	12時 ~ 14時	44
	14時 ~ 16時	48
夕	16時 ~ 18時	40
	18時 ~ 20時	29
夜間	20時 ~ 22時	11
	22時 ~ 24時	9
	0時 ~ 2時	6
	2時 ~ 4時	16
早朝	4時 ~ 6時	16
	6時 ~ 8時	34
計	392	

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

月別	件数
4月	52
5月	85
6月	92
7月	94
8月	70
9月	75
10月	103
11月	102
12月	84
1月	83
2月	54
3月	50
計	944

⑤障害等

障害分類名	件数
骨折	11
打撲	20
皮下出血	103
すり傷	17
裂傷	9
呼吸困難	1
嘔吐	0
表皮剥離	60
精神不安定	0
外傷等なし	77
利用者の物品管理	34
送迎関係	3
服薬・異常なし	17
その他	40
計	392

⑥発生月別

月別	件数
4月	37
5月	39
6月	35
7月	37
8月	31
9月	32
10月	34
11月	24
12月	36
1月	30
2月	32
3月	25
計	392

⑦保険者への報告

内容	件数
入院等継続的な治療が必要となった事故	12
家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
介護上の事故等、その他の事故	0
計	12

## ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関わる事項	2	0	1	0	0	3
②個人の嗜好・選択に関わる事項	0	0	0	0	0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0	0	0	0	0	0
④制度、施策、法律に関わる要望	0	0	0	0	0	0
⑤その他	1	0	0	0	0	1
合 計	3	0	1	0	0	4

## 身体拘束の状況

令和2年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。



年間行事一覧

月	日	行事名(内容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	3	花見(会食)	80	20	0	0
5	14	芋の植え付け	7	0	0	0
5	21	春の鮎焼き	80	20	0	0
7	7	七夕飾り	80	15	0	0
7	16・22	ひまわりドライブ	13	0	0	0
9	11	芋掘り	3	0	0	0
10	21	秋のさんま焼き	80	20	0	0
12	25	クリスマス会(会食)	80	20	0	0
12	28	もちつき	10	0	0	0
2	2	節分	80	20	0	0
3	3	ひな飾り	80	0	0	0

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日時	1回の平均参加人数	ボランティア名等	内容
施設	散髪ボランティア	第2月曜日/隔月	2	為広様 他	散髪
	美容らん	第3水曜日	30	らんモバイルヘアサロン	散髪、カラー、パーマ
	ハッピー散髪	第1水曜日	30	美容室ふじむら	散髪、カラー、パーマ
	茶葉詰め	随時	1	黒木様	
通所	運動、知能、創作レク	毎日	20		希望者のみ実施
	誕生日会	誕生日前後の利用日	1		誕生日カードとプレゼント
	手作りおやつ	月1回	5		季節に応じた手作りおやつ調理を希望者と一緒に実施
	花生け	毎週水曜	3	近藤様	
	紙芝居	月1回	20	紙芝居ボランティア	読み聞かせ交流

地域との交流

月	日	内容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
5	10	まんのう町井出ざらい	1	0	田淵地区	

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため、ほとんどの地域活動が中止となりました。

カフェ・お茶会

令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため実施していません。

**短期入所生活介護**

ご利用に際して、利用前の検温等の体調確認にご協力いただきました。感染症の状況により、ご家族の面会もできないことが多く、ご家族にはご心配をおかけしました。利用される方は少なかったのですが、オンライン面会の対応を行いました。日頃の様子を職員からお伝えしましたが、充分ではなかったこともありました。

職員配置の関係で引き続き利用人数を制限することになり、大変ご迷惑をおかけしていますが、多くの方にご利用いただけるように職員配置が整い次第、調整していきます。

**延べ短期入所利用者数**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	922	1037	967	1063	1112	1196	1280	1338	1353	1328	1165	1227	13988
要支援(介護予防)	30	31	30	48	17	20	18	23	27	25	22	27	318
合計	952	1068	997	1111	1129	1216	1298	1361	1380	1353	1187	1254	14306
利用率	57.7	62.6	60.4	65.2	66.2	73.7	76.1	82.5	80.9	79.4	77.1	73.5	71.3

**介護度別利用状況**

介護度	令和2年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	0	0	0%
要支援2	3	318	2.2%
要介護1	10	2069	14.5%
要介護2	22	4433	31.0%
要介護3	18	5012	35.0%
要介護4	9	1680	11.7%
要介護5	4	794	5.6%
合計	66	14306	100%

(2) 通所介護事業

満濃荘老人デイサービスセンター

在宅で生活されているご利用者に対して、ご家族・担当ケアマネジャー・他事業所の関係者とともに、私たちができることを考え、実践していきました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・感染症対策にて感染予防を考慮し、飛沫・三密を避けたレクリエーションや行事を行いました。家族会やボランティアの受け入れなどの地域の方を招いた行事に関しては中止しました。
- ・ご利用者が安全・安楽に過ごせるように通所で行える介助方法について、職員会で検討しました。毎月見直しを行うことで、対応変更や職員間での意識付けをすることができました。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・居宅チェックシートに基づきアセスメントを行い、実施することで身体状況の確認や意向に沿った運動計画を作成、実施することができました。
- ・感染症対策として迎え時に検温・体調確認と、施設に到着時のうがい・手洗いの声掛け見守りを行いました。ご利用者の体調に異常があった場合はご家族に状態報告を行い、受診や自宅安静を依頼して、早期の対応をしていきました。

## 通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用実人員	70	65	67	73	69	65	68	72	74	70	71	75	839
利用延人数	568	563	584	603	556	518	570	564	594	542	550	637	6849
利用率 (月～金曜)	69.1	67.0	70.5	71.0	66.8	61.7	65.8	67.8	67.8	64.0	71.5	71.6	67.9
利用率 (土・日曜)	70.0	67.2	74.4	70.6	67.5	69.4	75.6	76.1	78.8	69.5	75.6	89.4	73.4

## 介護度別利用状況

介護度	令和2年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	4	237	3.5%
要支援2	13	697	10.2%
要介護1	21	1640	23.9%
要介護2	22	2328	34.0%
要介護3	8	1182	17.3%
要介護4	6	623	9.1%
要介護5	1	142	2.1%
合計	75	6849	100%

(3) 居宅介護支援事業

1. 業務管理・改善への取り組み

- ・年間を通じて感染症対策を優先しました。感染症流行の状況を常に把握しながら、介護支援専門員としての対応を検討し実施しました。また、関係する業務マニュアルの見直しや新規作成を行いました。
- ・大地震を想定した事業継続計画を大まかな形にできたものの、詳細や実際の運用については引き続き検討が必要です。

2. 関係機関との協力体制

- ・まんのう町のケアマネ連絡会や地域ケア個別会議への参加を通じ、地域の関係機関との情報交換や地域ニーズの充足の方法を話し合いました。また、入退院時には医療機関との連携を図り、情報共有とスムーズな支援につながりました。

3. 専門職としてスキルアップできる研修の充実

- ・専門職研修や居宅介護支援合同研修については、感染症流行のため予定を変更・中止せざるを得なかったものの、計画に準じた研修を行うことができました。また事例検討を通じ、複雑で多様なニーズを含むケースに触れ、支援のあり方を考え学びました。

居宅介護支援事業実績

市町別居宅サービス計画実績 ( )内要支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
まんのう町	62 (4)	63 (4)	61 (4)	62 (4)	64 (4)	68 (4)	70 (4)	73 (5)	76 (7)	76 (7)	75 (6)	77 (7)	827 (60)
琴平町	4 (1)	4 (1)	3 (0)	3 (0)	2 (0)	2 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	36 (2)
丸亀市	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	15 (0)
高松市	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	12 (0)
善通寺市	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)
三豊市	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
東みよし町	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)
計	70 (5)	71 (5)	68 (4)	68 (4)	69 (4)	72 (4)	76 (4)	79 (5)	82 (7)	82 (7)	81 (6)	83 (7)	901 (62)

要介護度別状況 (令和2年度末)

介護度	作成者数
要支援1	2
要支援2	5
要介護1	36
要介護2	28
要介護3	6
要介護4	11
要介護5	2
計	90

支給申請の手続き代行及び認定調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉用具支給申請	0	0	1	0	2	1	1	0	3	0	1	0	9
住宅改修支給申請	0	0	1	2	1	1	0	0	2	0	1	1	9
介護保険申請代行	3	1	1	1	3	1	3	2	1	1	2	1	20
介護保険認定調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4)その他の事業

1. 老人介護支援センター事業

- ・長尾ふれあいサロンには、感染症対策のため、今年度は一度も参加をすることができませんでした。他の地域の交流もなくなり、地域からの相談を受ける機会が減りました。

2. 緊急通報体制事業

- ・通報受信時に協力員の協力が得られないケースにおいて、まんのう町と相談し、協力員の順番を変更することができました。緊急通報件数は昨年度とほとんど変わりませんでしたが、相談件数が1件と減少しました。
- ・まんのう町が協力員の変更について確認を登録者全てに行い、変更することができました。また、まんのう町と緊急通報受付用紙の様式変更について意見交換を行いました。

3. 家族介護者交流事業

感染症流行への予防のため実施できませんでした。

4. 給食サービス事業

- ・普通食が食べられない方については食事形態を変更して対応しました。アレルギーや嗜好についてはご利用者の要望を確認し代替メニューを提供しました。
- ・配達時に普段と違う様子があれば、まんのう町へ報告し、担当ケアマネジャーや利用されている在宅サービスが分かる方の場合、それぞれの担当者へも連絡し情報共有を行いました。

5. 生きがい活動支援通所事業

- ・新規ご利用者数が増えたため2班から3班に班編成を行い、場所も交流ホームからコミュニティホールに変更しました。
- ・感染症対策にて外出は中止して、創作活動やおやつ作りなど室内で行える活動の提供を行いました。

6. おもいやりネットワーク事業

- ・法人内で、フードバンクの取り組みは行いましたが、他の活動は行えませんでした。

緊急通報装置 通報データ集計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
緊急	救急車出動	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	協力員対応	2	2	4	0	0	0	2	2	1	0	1	0	14
	誤報	1	0	1	1	1	5	5	2	1	0	8	2	27
相談	相談	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	誤報	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	3	3	13
テスト通報		4	7	3	4	1	1	4	7	4	4	1	12	52
電池切れ(停電含)		4	3	4	7	3	2	8	15	8	3	5	5	67
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		13	13	13	12	5	8	22	28	15	8	18	22	177

町別集計

	緊急通報	相談通報	その他	計
まんのう町	43	12	82	137
琴平町	1	2	37	40
合計	44	14	119	177

在宅介護者のつどい実績

実施日	行き先	見学施設等	備考	人数

※新型コロナウイルス感染症感染対策のため中止となりました。

給食サービス・安否確認実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	8	8	9	8	8	8	9	7	9	8	7	9	98
食数	286	277	301	247	243	244	266	197	264	250	220	288	3083



生きがいデイサービス 利用実績

まんのう町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
利用延人員	16	17	18	17	21	24	23	23	25	26	24	25	259
1日平均利用者	2.7	2.8	3.0	2.8	3.5	4.0	3.8	3.8	4.2	4.3	4.0	4.2	3.6

年間行事等実施状況

月	実施内容	備考(詳細)	参加人員
4	桜観賞	桜の観賞	12
5	手作りおやつ	抹茶のワッフル	12
6	作品づくり	アジサイの作品	14
7	ひまわり観賞(帆山)	ひまわりの観賞にドライブ	11
8	調理	夏野菜の天ぷら	7
9	手作りおやつ	マスコットクリップ	20
10	ミニ運動会	運動会にちなんだ競技	17
11	秋の外出	財田の道の駅	22
12	クリスマス会	会食	22
1	絵馬づくり	干支の絵馬	19
2	節分	豆まき	21
3	作品づくり	鶴と亀の作品	19

### Ⅲ. 特別養護老人ホーム

仲 南 荘

(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業

感染症対策のため計画していた取り組みの多くが実施できませんでした。普段の生活をあたりまえとして行える大切さを、福祉施設の役割として考える機会となりました。

制限された環境の中でご利用者の生活の場としてのサービスの提供、またご家族や地域の方との関わりの大切さを深く考えることができました。

介護老人福祉施設

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ノーリフティングケアについて、移乗介助時はご利用者と職員の双方にとっての安全と負担の軽減を考え、福祉用具の活用が徐々に浸透しています。疑問点や課題等は多職種で話し合い取り組みました。
- ・ご家族との面会が制限されている中、オンライン面会の際や電話での連絡で、ご利用者の日常生活の様子を報告を行いました。

2. 健康と機能維持に向けた関わり

- ・多職種間で情報共有し、ご利用者の体調異状時には主治医報告や他科への受診を行い、重症化の予防に努めました。また新型コロナウイルス感染症対策をし、熱発などの症状がある場合は医療機関に確認し指示を仰ぎ対応しました。
- ・3月初めに風邪症状蔓延にて1か月ほど施設全体で有症状者と無症状者を分けるなどの対応や嘱託医への状況報告を頻回にして終息しました。
- ・機能訓練はご利用者の表情や反応、身体状態をみながらご利用者に無理のないように行いました。今後も日常生活に活用できるように行います。

3. 食生活の充実

- ・噛む力や飲み込む力が低下したご利用者に配慮した食事の提供を目指し、一部調理方法の変更を行いました。引き続き、安全で見た目も良く、おいしいと感じていただける食事の提供に向けて取り組んでまいります。
- ・栄養ケアマネジメントにおいては、ご利用者の食事状況や身体状態の確認を行い、定期的なカンファレンスを通して一人ひとりに合わせた食支援の方法について、多職種で意見交換を行いながら進めました。
- ・異物混入が発生した際は、給食協力会社と発生原因、再発防止策の検討・実施を行いました。

4. 適切な相談支援

- ・ご利用者やご家族へ制度や福祉に関する情報を提供しました。安心してサービスをご利用いただけるよう分かりやすい説明を心がけました。
- ・コロナ禍でご利用者やご家族との面会が少なかった中、面会が可能な機会や電話などでご利用者の生活状況を伝え、関わりをもちました。

## 5. 積極的な地域社会との交流

- ・コロナ禍の影響で地域の方々や他事業所との関わりは限られたものになりましたが、11月に仲南地区の用水路清掃への参加とまんのう町社会福祉協議会からの依頼で仲南小学校3年生への高齢者疑似体験学習を実施し地域の方々と交流することができました。
- ・認知症カフェ「まんまんカフェおよりさん」を11月に開催し染物体験と冬の脱水症状についての講座を行いました。
- ・青色防犯パトロール活動を定期的に実施し状況を確認しました。地域との防災活動は中止となりましたが自施設での防災訓練は実施できました。

## 6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・各自で立てた目標を意識し、それを達成するために行動し、半期で振り返ることができています。その目標を上司が確認し、それが事業計画に基づくものか、また具体的な指標を設定し達成度を図るなどは取り組みが不十分であったと考えています。
- ・12月より技能実習生が2名、私たちの仲間になりました。先輩の技能実習生が生活面でサポートを行ってくれています。業務については、慣れるまで毎日職員と行動を共にして介護の知識や技術を覚えてくれています。日本語習得の勉強が十分にはできておらず今後の課題と考えています。

## 7. 令和2年度委員会活動

### ◇研修委員会

- ・各法人委員会、担当者会で作成した法人で統一した内容の資料を用いて研修を実施しました。感染症対策で慌ただしかったこともあり、3月に予定していた研修が実施できませんでした。また委員会の中で記録についての課題があがりましたが、それを研修に落とし込んでいくことができず、次年度の課題となりました。

### ◇事故防止検討委員会

- ・毎月、各部署の会議にてご利用者のリスクについて話し合い、事故・ヒヤリハットの対応策の再確認ができました。介助中に職員が怪我をする事故が発生しました。介助方法の見直しを行い、ご利用者・職員共に安全に留意した負担の少ない福祉用具を活用した方法へと変更しました。

### ◇苦情対応委員会

- ・ご意見に関する研修を職員に向けて行い、ご意見受付への理解を深めました。
- ・コロナ禍で面会制限もあり、ご家族とお会いする機会が少なかったためか例年に比べるとご意見受付数が少ない結果となりました。いただいたご意見については対応策を実施し、その対応策が継続できていることを確認しました。

### ◇広報委員会

- ・年3回の広報誌の発行ができ、ご利用者や地域の方々への配布ができました。

- ・ホームページの「窓」は、特別な行事以外でも施設の日常風景や出来事を掲載することで施設の様子を広く伝えるなどを行い定期的に更新することができました。

#### ◇感染予防対策委員会

- ・研修等により職員が感染症に対する正しい知識を得ることができ、感染症に対する意識の向上につながりました。
- ・施設内で風邪症状の感染があり、初期対応の遅れで感染が拡大しました。今後、感染症が発生しても拡大させないための取り組みが課題と考えます。

#### ◇ポジショニング委員会（褥瘡予防委員会）

- ・ノーリフティングやポジショニングを取り入れたケアを介護現場で実施し、ご利用者の安全・安楽を考えて取り組んでいます。さらなる定着を目指し研修計画を立てていましたが十分な確認や見直しが不十分なため次年度の課題と考えています。

#### ◇喀痰吸引等の安全委員会

- ・夜間の喀痰吸引が必要なご利用者が1名おられ、特定行為業務従事者による喀痰吸引を実施しました。吸引によるトラブルもなくご利用者の状態も落ち着いています。今後も実践と研修を通し、技術を向上させます。
- ・救命処置研修はコロナ禍のため、施設内にてモデル人形を使用し、知識・技術の確認を行いました。

#### ◇身体拘束廃止委員会

- ・年2回、職員に対して身体拘束・スピーチロックの研修を行い、介護現場における身体拘束廃止の理解を深めました。
- ・スピーチロックについては、ご利用者に早急に対応しないといけない時など行動を制限してしまうような言葉遣いになってしまうことがあり課題と感じています。

#### ◇衛生委員会

- ・年間計画通りテーマを設け施設の現状を重ねて、産業医の助言を受けながら職員の健康や働く環境についての情報を提供することができました。
- ・介助時の無理な体の動きから起因する労働災害事故がありました。腰痛だけでなく何気ない日常の動作の中にあるリスクを探り、職場のルールや環境を整備することが課題です。

#### ◇給食委員会

- ・日々の食事に旬の食材や行事食を取り入れるよう心がけて献立を検討しました。提供した献立内容や、食事中のご利用者との関わりの中から気づいたことを話題にし、次の献立検討に反映しました。

◇地域福祉委員会

- ・コロナ禍の影響で地域行事が中止となることが多く、職員の参加機会は計画より少ないものになりました。地域の方々との交流機会が少ない中で、関係を途切らせることがないように関わりを続けていく機会をつくることが課題となっています。

施設利用状況

	入所	退所					月間 空床率	延べ利用者数
		死亡		長期入 院	施設間 移動	計		
		施設内	病院					
4月	1	1	1	0	0	2	7.7	1484
5月	1	0	0	0	0	0	3	1549
6月	0	0	1	0	0	1	2.5	1496
7月	1	1	0	0	0	1	2.8	1539
8月	2	0	0	1	0	1	2.8	1539
9月	0	0	0	0	0	0	2.9	1500
10月	0	0	0	0	0	0	6.4	1550
11月	0	0	0	1	0	1	5.3	1488
12月	2	0	0	1	0	1	2.8	1547
1月	0	0	0	0	0	0	3.7	1550
2月	1	1	0	1	0	2	3.6	1389
3月	1	1	0	0	0	1	2.3	1529
計	9	4	2	4	0	10		18160

介護度別	令和2年度末				年間延べ利用者数	
	介護度	男	女	計		比率
要介護 1	0	0	0	0	0.0	0
要介護 2	0	0	0	0	0.0	0
要介護 3	3	15	18	36.7	6258	
要介護 4	4	14	18	36.7	6453	
要介護 5	3	10	13	26.5	5449	
計	10	39	49	100	18160	
平均			3.9			

市町別	令和2年度末	年間	
	利用者数	入所数	退所数
まんのう町	41	5	8
琴平町	4	2	2
三豊市	3	1	0
東みよし町	1	1	0
計	49	9	10

外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院	34	46	38	33	33	43	100	67	41	57	39	14

年齢分布

年齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男性	0	2	3	5	0	10	87.8	96	74
女性	0	1	21	14	3	39	89.5	100	73
計	0	3	24	19	3	49	88.7		

認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
人数	0	0	1	8	13	11	11	5

入所平均在所期間

男性	4年9か月
女性	3年7か月
全体	3年9か月

診療科別往診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	4	2	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2	29
整形外科	1	1	4	2	2	2	2	1	4	1	2	2	24
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
歯科	4	3	5	6	4	3	3	4	4	4	4	3	47
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	12	9	14	14	12	11	10	10	13	10	11	10	136

診療科別受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	7	10	9	5	14	6	11	10	11	13	5	21	122
整形外科	9	9	12	5	10	7	5	6	12	5	9	8	97
耳鼻咽喉科	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
眼科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
歯科	0	0	0	0	0	1	4	2	2	0	0	0	9
外科	7	2	2	2	3	2	5	1	3	3	2	3	35
婦人科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚科	1	1	0	3	3	0	0	2	2	0	0	0	12
泌尿器科	6	5	4	4	6	4	4	4	5	5	5	6	58
脳神経外科	2	0	0	0	1	4	1	5	0	1	1	3	18
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	32	29	28	20	37	24	30	30	35	27	22	41	355

リハビリテーション実施状況

種目	ホットパック	マイクロ波	メドマー	足マッサージ器	マッサージチェア	平行棒歩行訓練	杖・歩行器歩行訓練	助木運動	滑車運動	生活リハビリ	入浴時運動	RO時体操	ビニールたたみ等作業	園芸活動
対象者数	12	0	0	4	0	1	1	6	2	23	0	16	14	0

食事形態の状況

	普通食	きざみ食	やわらか食	ミキサー食	経管栄養	合計
令和2年度末	3	11	10	16	9	49

栄養マネジメント実施者数

	低リスク	中リスク	高リスク	合計
令和2年度末	22	20	5	47



職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
7月9日	まんのう町内介護施設等意見交換会	まんのう町		施設長	篠原匡生
7月10日	まんのう町成年後見制度利用促進協議会	まんのう町		統括部長	平田裕二
7月10日	感染症対策研修会	丸亀市		看護課長	松下葉子
8月21日	新型コロナウイルス感染症対応力向上研修会	オンライン		施設長	篠原匡生
8月31日	まんのう町成年後見制度利用促進協議会	まんのう町		統括部長	平田裕二
9月11日	社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染症対応研修会	オンライン		統括部長	平田裕二
9月18日	認定調査員新規研修会	オンライン		介護支援専門員	篠原絵美
10月8日	外国人技能実習生介護技能向上集合研修【専門職】	坂出市		技能実習生	ペピサピトリ
10月9日	まんのう町成年後見制度利用促進協議会	まんのう町		統括部長	平田裕二
10月14日	認定調査員現任研修会	丸亀市		介護支援専門員	中須加倫子
10月15日	外国人技能実習生介護技能向上集合研修【初級】	坂出市		技能実習生	ウィンダウィナルティ
10月16日	指導的職員(チームリーダー)研修会	オンライン		介護課長	篠原則子
10月26日	喀痰吸引等研修事業指導看護師フォローアップ研修	高松市		看護課長	松下葉子
10月27日	香川おもいやりネットワーク事業担当者連絡会	オンライン		統括課長	岡田力也
10月28日	四国経営品質協議会定例会	高松市		統括課長	岡田力也
11月2日、21日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	高松市		統括部長	平田裕二
11月5日	外国人技能実習生介護技能向上集合研修【専門職】	坂出市		技能実習生	ペピサピトリ
11月5日	社会福祉法人経営青年会研修会	高松市		施設長	篠原匡生
11月10日	部下後輩指導力育成セミナー	高松市		統括課長	岡田力也
11月11日、12日	防火管理者講習・防災管理者講習	高松市		統括部長	平田裕二
11月12日	外国人技能実習生介護技能向上集合研修【初級】	坂出市		技能実習生	ウィンダウィナルティ
11月13日	まんのう町成年後見制度利用促進協議会	まんのう町		統括部長	平田裕二
12月7日	終活と成年後見制度	オンライン		統括部長	平田裕二
12月11日、24日、26日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	高松市		統括部長	平田裕二
1月21日	四国経営品質協議会定例会	高松市		施設長	篠原匡生
1月21日	四国経営品質協議会定例会	高松市		統括部長	平田裕二
2月20日、24日	介護支援専門員更新研修(実務経験者)	高松市		統括課長	岡田力也
3月2日、18日、24日、27日	介護支援専門員更新研修(実務経験者)	高松市		統括課長	岡田力也
3月10日	社会福祉施設等職員採用内定者研修会	オンライン		介護職員	藤岡幸太郎
3月11日	福祉サービス苦情対応研修会	オンライン		生活相談員	小松智紀
3月11日	社会福祉法人経営青年会総会	高松市		施設長	篠原匡生
3月15日	介護外国人材受入フォーラム	オンライン		施設長	篠原匡生
3月23日	成年後見制度基礎研修	オンライン		統括課長	岡田力也
3月25日	香川県老人福祉施設協議会総会	オンライン		施設長	篠原匡生

## 施設内研修等(防災訓練を含む)

月 日	研修内容	参加人員	講 師
5月	ケース記録・電話連絡研修	38	介護課長
6月	事故防止研修	50	事故防止検討委員会
6月	喀痰吸引研修	8	喀痰吸引等の安全委員会
7月	手洗い研修	35	感染予防対策委員会
7月～11月	ノーリフティング研修	15	ポジショニング委員会
7月～8月	新型コロナウイルスに関するマスク、予防衣の着脱研修	52	看護課長
8月	身体拘束廃止研修	40	身体拘束廃止委員会
9月	褥瘡予防研修	46	ポジショニング委員会
10/2・10/7	AED・心肺蘇生研修	42	喀痰吸引等の安全委員会
11月	嘔吐物処理研修	38	感染予防対策委員会
11月5日	シェイクアウト	30	香川県地震防災行動訓練
12月28日	夜間想定 of 防災訓練	10	防火管理者
1月	喀痰吸引研修	8	喀痰吸引等の安全委員会
1月	ご意見受付研修	47	苦情対応委員会
1月	事故防止研修	43	事故防止検討委員会
2月	身体拘束廃止研修	43	身体拘束廃止委員会
2月	ターミナル研修	49	看護職員
3月29日	日中想定 of 防災訓練	20	防火管理者

## 実習等受け入れ状況

実習者名(団体名)	期間	実人員	延日数
四国学院大学	8月17日～9月16日	1	23
香川短期大学	11月2日～11月6日	1	2
「福祉介護の仕事」職業体験研修	3月9日・25日	2	2

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

事業	件数
施設(特養・GH・短期)	196
在宅(通所・居支・その他)	38
計	234

②発生場所別

場所	件数
居室	73
廊下	18
浴室	10
脱衣室	12
ホール	70
トイレ	13
食堂	0
玄関	5
施設外	5
その他	28
計	234

③事故内容別

事故の内容	件数
転倒	39
転落	25
誤飲・誤嚥	0
異食	11
服薬管理	4
自傷行為	0
徘徊	0
入所者間トラブル	0
器物損壊	9
皮下出血	62
紛失	1
金銭管理の事故	0
経管自己抜去	0
送迎・移送中の事故	3
職員の介助中の事故	19
私物返し忘れ	16
表皮剥離	18
その他	27
計	234

④発生時間帯別

時間帯	件数	
朝	8時 ~ 10時	31
	10時 ~ 12時	36
昼	12時 ~ 14時	18
	14時 ~ 16時	40
夕	16時 ~ 18時	34
	18時 ~ 20時	16
夜間	20時 ~ 22時	6
	22時 ~ 24時	5
	0時 ~ 2時	12
	2時 ~ 4時	7
早朝	4時 ~ 6時	10
	6時 ~ 8時	19
計	234	

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

月別	件数
4月	23
5月	65
6月	119
7月	100
8月	67
9月	70
10月	50
11月	119
12月	82
1月	63
2月	45
3月	50
計	853

⑤障害等

障害分類名	件数
骨折	9
打撲	12
皮下出血	68
すり傷	7
裂傷	3
呼吸困難	0
嘔吐	1
表皮剥離	26
精神不安定	0
外傷等なし	52
利用者の物品管理	29
送迎関係	6
服薬・異常なし	4
その他	17
計	234

⑥発生月別

月別	件数
4月	24
5月	21
6月	16
7月	22
8月	24
9月	31
10月	11
11月	11
12月	20
1月	17
2月	19
3月	18
計	234

⑦保険者への報告

内容	件数
入院等継続的な治療が必要となった事故	7
家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
介護上の事故等、その他の事故	1
計	8

## ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関わる事項	1	0	0		0	1
②個人の嗜好・選択に関わる事項	0	0	0		0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0	0	0		0	0
④制度、施策、法律に関わる要望	0	0	0		0	0
⑤その他	0	0	1		0	1
合 計	1	0	1		0	2

## 身体拘束の状況

令和2年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。

## 年間行事一覧

月	日	行事名(内容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	1	お花見	50	23	0	0
5	18	デイ グランドゴルフ大会	0	26	0	0
5	27	春の野外食	42	27	0	0
6	5	デイ カラオケ大会	0	27	0	0
6	26	あじさい観賞	3	0	0	0
7	7	七夕まつり	50	25	0	0
8	13・14	デイ 夏祭り	0	44	0	0
8	19	ミニ夏祭り	50	0	0	1
9	18	デイ 敬老会	0	23	0	0
10	14	デイ 運動会	0	26	0	0
10	16	秋の野外食	42	26	0	0
11	3	デイ お楽しみゲーム大会	0	27	0	0
12	24	デイ クリスマス会	0	29	0	0
12	25	施設 クリスマス会	50	0	0	0
12	30	餅つき	50	0	0	0
1	6	デイ 初笑い会	0	27	0	0
2	2	節分	50	27	0	0
3	3	デイ ひなまつり	0	25	0	0

## 月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日時	1回の平均参加人数	ボランティア名等	内容
施設	手作りおやつ	毎月1回	35	安西朱実様	おやつ作り
	生け花	毎週木曜日	20	〃	生け花
	散髪外出	毎週水曜日	2	近隣の理容店	散髪
	訪問散髪	毎月1回	3	小山節子様	散髪
	訪問散髪	毎月1回	3	らんモバイルヘアースalon	散髪
	写真の展示	年3回		さわやかフォトクラブ	玄関ホールへの写真展示
通所	生け花	毎週木曜日	10	安西朱実様	生け花
	誕生日祝い	対象者の利用日	1	対象ご利用者	誕生日のお祝い

地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
11	8	帆山地区用水路清掃	3	1	帆山地区水利組合	50
11	24	高齢者疑似体験学習	5	0	仲南小学校3年生	40

カフェ・お茶会

感染症拡大防止のため実施していません。

## 短期入所生活介護

- ・ご利用者、ご家族、ケアマネジャーより、サービス利用時のご意向やご本人の状態を伺い、施設の部署間で情報共有を行ってスムーズな利用につなげました。また積極的に新規のご利用者を受け入れました。
- ・ご利用者の体調変化や気がついたことはご家族やケアマネジャーに分かりやすく報告し、他のサービスのご利用や在宅生活が続けられるよう情報を提供しました。

## 延べ短期入所利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	490	481	469	497	488	516	570	550	534	543	460	481	6079
要支援(介護予防)	4	6	4	11	6	6	6	6	6	2	2	4	63
合計	494	487	473	508	494	522	576	556	540	545	462	485	6142
利用率	82.3	78.5	78.8	81.9	79.7	87.0	92.9	92.7	87.1	87.9	82.5	78.2	84.1

## 介護度別利用状況

介護度	令和2年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	0	0	0%
要支援2	2	63	1.0%
要介護1	9	605	9.9%
要介護2	19	2725	44.4%
要介護3	22	1477	24.0%
要介護4	20	537	8.7%
要介護5	18	735	12.0%
合計	90	6142	100%

(2) 通所介護事業

仲南荘老人デイサービスセンター

ご利用者の言動や行動、ご家族との何気ない会話の中から、その方の変化や悩みなど気づいたことをチーム内で情報を共有しました。ご利用者にとってまた利用したくなるような落ち着ける居場所を提供できるよう取り組みました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・職員間で報告・連絡・相談を行いました。気づきや課題をその日のミーティングなどで話し合いスムーズな情報共有ができるよう取り組みました。
- ・ご利用者についての小さな情報でもご家族やケアマネジャーに伝え、相談や確認を行いました。
- ・ポジショニングの技術を直接、ご利用者に活用する機会は少なかったですが、ポジショニングの手順を定期的に確認しました。またご利用者への福祉用具の選定に役立てることができました。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・リハビリ訓練の内容を毎月変更し参加していただきました。歩行訓練においてはレクリエーションの要素を入れることで意欲的に行う方が増えました。
- ・5名程のご利用者を対象に回想法レクリエーションを取り入れました。テーマを基に昔懐かしいお話をお聞きし、ご利用者の新たな魅力を感じることができました。



## 通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用実人員	76	81	82	77	74	74	76	71	70	72	70	69	892
利用延人数	655	707	684	705	649	666	689	662	721	716	640	651	8145
利用率 (月～金曜)	83.3	91.0	87.4	86.7	82.1	84.8	86.1	85.7	87.5	90.0	87.5	79.7	86.0
利用率 (土・日曜)	87.5	89.3	89.2	89.2	88.0	88.3	89.6	90.4	97.5	99.3	95.8	84.2	90.7

## 介護度別利用状況

介護度	令和2年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	4	184	2.3%
要支援2	8	681	8.4%
要介護1	31	3084	37.9%
要介護2	24	2919	35.8%
要介護3	5	679	8.3%
要介護4	7	568	7.0%
要介護5	1	30	0.4%
合計	80	8145	100%

(4)その他の事業

1. 仲南荘老人介護支援センター事業

- ・入所相談の際にご家庭での困りごと等を伺うことがあり、情報提供を行いました。他機関へつなぐ相談はありませんでした。
- ・地域で起こりうる生活課題を気軽に相談できるよう今後も周知が必要と考えます。

2. 生きがい活動支援通所事業

- ・ご利用者同士が落ち着いた気持ちで交流しやすい環境づくりを行いました。
- ・ご利用者一人ひとりとの関わりを大切に、会話や活動を通し信頼関係を築くことを進めました。ご利用者の体調などにお変わりがあったときは、必要な情報を毎月保険者へ報告し連携を図りました。

3. おもいやりネットワーク事業

- ・法人全体での活動ではありますがフードドライブ活動を通し、法人職員の自宅より消費しきれない食料品を集め、地域の連携法人に届けました。食料品を必要とする地域の方に活用していただき喜ばれたと伺いました。
- ・施設での実質的活動は少ないですが事業への参加施設として、施設広報誌におもいやりネットワーク事業を紹介しました。また近隣地域との連携会議に参加し活動状況を情報交換しました。

## 生きがいデイサービス 利用実績

## まんのう町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	2	2	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	43
利用延人員	11	9	28	27	20	30	31	27	28	24	25	25	285
1日平均利用者	5.5	4.5	7.0	6.8	6.7	7.5	7.8	6.8	7.0	6.0	6.3	6.3	6.5

## 琴平町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
利用延人員	6	9	9	7	9	9	8	9	7	5	6	9	93
1日平均利用者	6.0	4.5	4.5	3.5	4.5	4.5	4.0	4.5	3.5	2.5	3.0	4.5	4.1

## 年間行事等実施状況

月	実施内容	備考(詳細)	参加人員
4	花見外出	神野寺の桜観賞	17
5	室内ゲーム	3種類のテーブルゲームを行う	18
6	栄養教室	食中毒予防について	18
7	買い物外出	スーパー「ハナコ」での買い物	17
8	健康教室	熱中症予防について	18
9	おやつ作り	月見団子作り	20
10	運動会	チームに分かれて競技を行う	21
11	買い物外出	マルヨシセンターでの買い物	18
12	感染予防教室	寒い季節の注意点について	18
1	おやつ作り	ぜんざい作り	14
2	介護教室	認知症予防について	15
3	おやつ作り	おはぎ作り	17

## IV. 特別養護老人ホーム

やすらぎ荘

(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業

感染症対策が始まり事業計画を見直しながら進めた1年となりました。

ご利用者の変わらぬ日常生活を守るため、地域の方々との交流やボランティアの受け入れを中止せざるを得ませんでした。行事については、規模や方法を変更しながらご利用者が少しでも楽しめるよう実施しました。ご家族には、面会方法や人数制限、感染状況に応じた面会を実施しました。

**介護老人福祉施設**

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ご利用者の声や意思を確認しながら、その人らしい生活が送れるように、ケアを行いました。
- ・おむつフィッターによる指導でおむつのつけ方やサイズの選定を行いました。
- ・ノーリフティングケアの技術習得と習慣化に努め、安心して毎日が送れるように支援しました。マルチグローブの使用を主としてフォローアップ研修を7月より始めました。また、法人内の他施設の理学療法士の助言のもと、安楽な姿勢の保持に取り組みました。

2. 健康と機能維持に向けた関わり

- ・バイタルサインの測定、年2回の検尿、年1回及び適宜血液検査を行い、異常の早期発見対応が行えました。
- ・インフルエンザの予防接種は施行できましたが、結核検診は、コロナウイルス感染症の流行から保健所や検診センターと相談し、実施しませんでした。
- ・個別機能訓練計画を作成し、無理のないリハビリを実施し、機能維持に努めました。また3か月毎にモニタリングを行い、ご家族に報告、同意をいただきました。

3. 食生活の充実

- ・多職種との話し合いを重ね、ご利用者の状態に合った量や形態の食事を提供することができました。
- ・ご利用者の嚥下機能状態に合わせた食事を提供するため、固形化補助剤を使用して食べやすい状態に調整した食事を提供することができるようになりました。また、その取り組みをまとめた動画を多職種の職員に見てもらいました。

4. 適切な相談支援

- ・施設を利用される前には施設見学を行っていただきました。提供できるサービスとできないサービスについて具体的に説明を行い、スムーズな施設利用につなげました。
- ・ターミナル期には、納得を得ながら最期を迎えられるようご家族が施設職員、診療所のドクターと話し合う機会をもちました。

5. 積極的な地域社会との交流

- ・感染症の拡大から地域清掃や「お茶のまん会」民生委員連絡会などの開催や参加はできま

せんでした。

- ・青色防犯パトロールは、週1回実施することができました。
- ・感染対策を行いながら地域周辺の清掃活動を1回行うことができました。

#### 6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・職員会では「知愛一如」手帳や事業計画の目標などをテーマに職員一人ひとりが発言し、意見を共有することができました。
- ・年次有給休暇を職員が希望した時に取得できるよう調整しました。
- ・定期的な面接の実施と、職員個々の状態や相談に合わせて面接を行い、働きやすい環境につなげました。
- ・個人の目標を所属長や先輩職員が把握し、達成できるように指導やフォローを行いました。

#### 7. 令和2年度委員会活動

##### ◇研修委員会

- ・感染対策中で集まって講義を行わず、資料を配布して研修を行いました。配布後にアンケートを実施し理解度を確認しました。
- ・研修の年間計画を立て、各部署、各委員会と連携し、研修をすすめました。

##### ◇リスクマネジメント委員会（事故・防災・防犯）

- ・研修を行い、事故・ヒヤリハットについて改めて学ぶことができました。
- ・毎月、介護会や通所会等で事故の振り返りを行い再発を防止しました。
- ・ヒヤリハットの啓発を行いました。件数があまり増えませんでした。

##### ◇サービス向上委員会（業務改善・CS）

- ・面会制限やボランティアの受け入れ中止により、ご意見をいただくことができませんでした。また、ご家族アンケートも例年通り実施することができませんでした。
- ・マニュアルの更新はできませんでしたが、見直しや修正は行うことができました。

##### ◇広報委員会

- ・今年度は感染症の影響もあり、話題にできる行事が少なくホームページの窓の更新が計画通りに実行できず、今年度は5回の更新となりました。
- ・広報誌の発行も計画通りに進まず、年度末に1回の発行となりました。

##### ◇身体拘束廃止委員会（高齢者虐待）

- ・年2回の研修により、身体拘束・虐待防止について学びました。
- ・身体拘束ゼロを、継続することができました。

##### ◇感染防止対策委員会

- ・6月に食中毒研修、2月はコロナ対策として、防護服の脱着方法の研修を実施しました。

- ・感染症の発生なく経過することができました。

◇ポジショニング委員会（褥瘡予防・拘縮予防・ノーリフト）

- ・多職種が情報を共有し、協力しながら褥瘡の早期発見、対応を実施しました。また、拘縮の予防も継続的に行いました。
- ・マルチグローブや福祉用具の使用が習慣化できるように職員に対して意識づけを行いました。
- ・ノーリフティング技術のフォローアップ研修を7月よりスタートし、マルチグローブでの圧抜きと体位移動について行いました。

◇地域福祉推進委員会

- ・感染症の影響で地域活動の多くを実施することができませんでした。  
施設外の地域清掃や草刈りボランティアの受け入れを行い、地域の方々と交流の機会を少しでも持つことができました。
- ・法人の地域福祉委員会が作成した法人の地域活動の紹介動画を全職員を対象に見てもらいました。多くの職員にどのような地域活動があるかを知ってもらうことができました。

◇労働安全衛生委員会

- ・有給休暇の取得が計画的に進んでいるか進捗状況を確認しました。
- ・交通安全講習会を年2回書面で実施しました。○×問題形式や通勤路の危険個所を入れ交通安全の啓発を行いました。
- ・腰痛アンケート集計結果を基に腰痛が起りやすい場面について話し合い、解決方法を話し合いました。

◇安全委員会

- ・喀痰吸引に関しては対象ご利用者がおらず実施できませんでした。
- ・救命処置研修をモデル人形を使用し、全職員対象で実施しました。

◇給食委員会

- ・定期的に各部署からの意見をまとめ、協力会社との話し合いを行いました。実施献立について挙げた意見をもとに、改善点を検討しました。嚥下調整食の調整についても細かく話し合い、よりよい食事提供ができるようにしました。

施設利用状況

	入所	退所					月間 空床率	延べ利用者数
	計	死亡		長期入院	施設間 移動	計		
		施設内	病院					
4月	0	0	0	0	0	0	0.3	900
5月	0	0	0	0	0	0	1.9	930
6月	0	0	0	0	0	0	2.7	900
7月	0	0	0	0	0	0	4.9	930
8月	1	1	0	0	0	1	4.7	915
9月	0	0	0	0	0	0	2.2	900
10月	1	1	0	0	0	1	1.4	930
11月	0	0	0	0	0	0	0.1	900
12月	1	1	0	0	0	1	3.2	910
1月	1	1	1	0	0	2	5.9	920
2月	1	0	0	0	0	0	4.3	833
3月	1	0	1	0	0	1	5.2	914
計	6	4	2	0	0	6		10882

介護度別	令和2年度末				年間
	男	女	計	比率	延べ利用者数
要介護 1	0	0	0	0.0	0
要介護 2	0	0	0	0.0	0
要介護 3	0	11	11	36.7	3691
要介護 4	2	7	9	30.0	3188
要介護 5	1	9	10	33.3	4003
計	3	27	30	100	10882
		平均	3.9		

市町別	令和2年度	年間	
	利用者数	入所数	退所数
まんのう町	29	6	6
三豊市	1	0	0
計	30	6	6

外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院	3	18	24	46	29	19	13	1	9	44	33	29

年齢分布

年齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男性	0	1	1	1	0	3	86.6	98	78
女性	0	0	7	18	2	27	93.0	105	82
計	0	1	8	19	2	30	92.4		

認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M
人数	0	1	2	9	10	3	5	0

入所平均在所期間

男性	5年7か月
女性	3年3か月
全体	3年5か月



診療科別往診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	4	4	7	6	9	7	6	4	9	8	4	6	74
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	2	6	7	2	2	3	4	2	4	5	4	4	45
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	10	14	8	11	10	10	6	13	13	8	10	119

診療科別受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1	8	1	1	2	2	2	2	3	2	1	2	27
整形外科	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	1	0	1	3	1	1	5	1	0	0	0	0	13
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	3
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	8	3	5	3	4	7	3	6	3	1	2	46

リハビリテーション実施状況

種目	ホットパック	マイクロ波	ハドマー	足マッサージ器	マッサージチェア	平行棒歩行訓練	杖・歩行器歩行訓練	助木運動	滑車運動	生活リハビリ	入浴時運動	RO時体操	おしほり巻き等作業	園芸活動
対象者数	0	0	0	0	0	3	4	4	7	0	0	0	8	0

食事形態の状況

	普通食	きざみ食	やわらか食	ミキサー食	経管栄養	合計
令和2年度末	6	10	7	7	0	30

栄養マネジメント実施者数

	低リスク	中リスク	高リスク	合計
令和2年度末	27	3	0	30

## 職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
7月10日	感染症対策研修会	丸亀市		看護課長	堀家和本子
8月21日	新型コロナウイルス感染対策向上研修会	オンライン		施設長	盛優子
9月8日9日	防火・防災管理講習会	高松市		統括課長	近藤晃敬
9月11日	社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染症	オンライン		介護課長	村上由佳
10月26日	喀痰吸引研修事業指導看護師フォローアップ研修	高松市		看護課長	堀家和本子
10月8日	ケアプラン研修会	まんのう町		介護支援専門員	香川ゆかり
12月10日	ケアプラン研修会	まんのう町		介護支援専門員	渡辺悦子

## 施設内研修等 (防災訓練を含む)

月日	研修内容	参加人員	講師
5月15日	認知症研修	29	研修委員会
6月22日	食中毒研修	29	管理栄養士
7月20日	事件事例研修	28	リスクマネジメント委員会
7月26日	新型コロナウイルス感染症対策研修	26	感染防止対策委員会
8月14日	褥瘡・拘束予防研修	29	ポジショニング褥瘡委員会
9月22日	苦情対応研修	29	サービス向上委員会
10月12～15日	心肺蘇生・AED研修	19	看護課長
10月28日	身体拘束廃止研修	29	身体拘束廃止委員会
10月26日	火災訓練	30	自衛消防隊
1月21日	個人情報・プライバシー研修	29	研修委員会
2月18日	個人防護服の着脱研修	12	感染防止対策委員会
2月25日	土砂災害研修	6	土砂災害会議
3月19日	虐待防止研修	29	身体拘束廃止委員会
3月24日	火災訓練	30	自衛消防隊
3月31日	ヒヤリハット研修	29	リスクマネジメント委員会

## 実習等受け入れ状況

※令和2年度の実習生の受け入れはありませんでした。

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

	事業	件数
1	施設(特養・GH・短期)	52
2	在宅(通所・居支・その他)	15
	計	67

②発生場所別

	場所	件数
1	居室	17
2	廊下	5
3	浴室	9
4	脱衣室	2
5	ホール	14
6	トイレ	3
7	食堂	4
8	玄関	1
9	園外	6
10	その他	6
	計	67

③事故内容別

	事故の内容	件数
1	転倒	14
2	転落	14
3	誤飲・誤嚥	0
4	異食	0
5	誤薬	0
6	自傷行為	0
7	徘徊	0
8	入所者間トラブル	0
9	器物損壊	1
10	皮下出血	14
11	紛失	0
12	金銭管理の事故	0
13	経管自己抜去	0
14	送迎・移送中の事故	3
15	職員の介助中の事故	0
16	私物返し忘れ	4
17	表皮剥離	9
18	その他	8
	計	67

④発生時間帯別

	時間帯	件数
朝	8時～10時	11
	10時～12時	8
昼	12時～14時	5
	14時～16時	9
夕	16時～18時	11
	18時～20時	3
夜間	20時～22時	0
	22時～24時	3
	0時～2時	4
早朝	2時～4時	4
	4時～6時	3
	6時～8時	6
	計	67

⑤障害等

	障害分類名	件数
1	骨折	0
2	打撲	2
3	皮下出血	13
4	すり傷	0
5	裂傷	0
6	呼吸困難	0
7	嘔吐	0
8	表皮剥離	8
9	精神不安定	0
10	外傷等なし	26
11	利用者の物品管理	2
12	送迎関係	3
13	その他	13
	計	67

⑥発生月別

	月別	件数
1	4月	5
2	5月	3
3	6月	6
4	7月	4
5	8月	5
6	9月	3
7	10月	6
8	11月	9
9	12月	10
10	1月	7
11	2月	4
12	3月	5
	計	67

⑦保険者への報告

	内容	件数
1	入院等継続的な治療が必要となった事故	0
2	家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
3	介護上の事故等、その他の事故	0
	計	0

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

	月別	件数
1	4月	17
2	5月	4
3	6月	13
4	7月	5
5	8月	8
6	9月	27
7	10月	21
8	11月	11
9	12月	8
10	1月	22
11	2月	22
12	3月	20
	計	178

## ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関わる事項	0	0	0	0	0	0
②個人の嗜好・選択に関わる事項	0	0	0	0	0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0	0	0	0	0	0
④制度、施策、法律に関わる要望	0	0	0	0	0	0
⑤その他	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

## 身体拘束の状況

令和2年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。  
今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。

年間行事一覧

月	日	行事名(内容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	6・7・8・9・10	花見散歩	0	48	0	0
4	7	花見	32	0	0	0
5	22	春の野外食	34	22	0	0
7	6	お楽しみ七夕会	36	21	0	0
7	24・27	おやつ作り(水ようかん)	0	9	0	0
10	9	秋の野外食	34	20	0	0
10	26	運動会	0	16	0	0
12	24	クリスマス会	32	18	0	0
12	28	餅つき	0	16	0	0
2	2	節分	32	13	0	0
2	12	おやつ作り(生チョコ)	0	16	0	0
3	2	おやつ作り(桜餅)	0	16	0	0
3	3	ひな祭り	33	12	0	0

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日時	1回の平均参加人数	ボランティア名等	内容
施設	散髪ボランティア	第1金曜日	0		
	散髪ボランティア	第2木曜日	0		
	うきうき外出	第3水曜日	0		
	音楽療法	第2・4水曜日	0		
通所	誕生日祝い	誕生日当日か近い日	5		円座クッション
	カラオケ	週2回	10		
	作品づくり	随時	10		
	運動レク	随時	15		
	脳トレーニング	随時	15		
	畑作業と調理	随時	3		
	法話	第3木曜日	18	妙覚寺住職	感染症対策のため3回実施

地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
5	31	花植えボランティア	0	0	親子ボランティアの会	5
6	4	地域清掃	10	6		0
9	27	花植えボランティア	0	0	親子ボランティアの会	5
11	29	檀那会草刈りボランティア	3	1	檀那会	25
12	27	花植えボランティア	0	0	親子ボランティアの会	5

カフェ・お茶会

※新型コロナウイルス感染症のため実施していません。

## 短期入所生活介護

ケアマネジャーと連携を行いながら、ご希望に沿った利用につながるよう受け入れを行いました。ご利用中の生活状況をお伝えし、情報共有を図りました。

## 延べ短期入所利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	107	148	142	151	137	122	112	126	127	91	106	116	1485
要支援(介護予防)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	107	148	142	151	137	122	112	126	127	91	106	116	1485
利用率	59.4	79.5	78.8	81.1	73.6	67.7	60.2	70.0	68.2	48.9	63.0	62.3	67.8

## 介護度別利用状況

介護度	令和2年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	0	0	0%
要支援2	0	0	0%
要介護1	2	209	14.1%
要介護2	5	692	46.6%
要介護3	3	431	29.0%
要介護4	1	23	1.5%
要介護5	0	130	8.8%
合計	11	1485	100%

(2) 通所介護事業

やすらぎ荘老人デイサービスセンター

今年度は路面の凍結、積雪がありました。ほとんどの職員が雪道に不慣れなため、特に安全運転を心がけ送迎を行いました。水道管の凍結で水道が止まりトイレや手洗い飲み水の制限、また入浴を中止せざるを得ない時もありご利用者にご不便をおかけしました。

外出機会の少ないご利用者にとってはデイサービスが楽しみの一つでもあります。にがりを持参したり、雪かきをしながら迎えに行くと感謝の言葉をいただき、それが職員の喜びや活力につながりました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ご利用者との信頼関係が築けるよう日常の会話を大切にしました。日常会話の中でも健康面や思いをくみ取り接することを心がけました。
- ・独居の方が多いため、ご家族と会話ができる機会には、普段の様子を報告し、ご家族の意向を確認するようにしました。
- ・レクリエーション活動に制限のある中で、全ご利用者が参加して手作り料理を多く作るようにしました。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・毎日朝の挨拶前にマルチグローブを使い、ご利用者に安楽な姿勢保持の意識づけを行い、日課として続けました。



通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	22	21	22	23	21	22	22	21	23	20	20	23	260
利用実人員	49	49	50	50	48	45	47	48	51	43	38	46	564
利用延人数	377	380	406	423	341	347	372	354	374	286	269	348	4277
利用率	68.5	72.3	73.8	73.5	64.9	63.0	67.6	67.4	65.0	57.2	53.8	60.5	65.8

介護度別利用状況

介護度	令和2年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	6	220	5.1%
要支援2	14	839	19.6%
要介護1	18	1361	31.8%
要介護2	12	1094	25.6%
要介護3	9	763	17.8%
要介護4	0	0	0.0%
要介護5	0	0	0.0%
合計	59	4277	100%

(3)居宅介護支援事業

1. 業務管理・改善への取り組み

- ・業務時間内に介護保険法に沿った書類の整備ができるよう、書類全般に内容を簡素にしました。また、県内外で感染症の拡大があり、感染症予防の対策を検討し実施しました。

2. 関係機関との協力体制

- ・各関係機関の担当者と、感染症対策に配慮し面会ではなく電話やファクス・郵便にて報告・連絡・相談を十分に行い、必要な情報を共有しました。

3. 専門職としてスキルアップできる研修の充実

- ・ケアマネ連絡会や居宅担当者会に出席しました。他事業所の介護支援専門員や多職種との情報交換や研修を通して、自らの業務を見直し、また、活力をいただくことができました。
- ・居宅介護支援担当者会ではオンラインを活用することで、安全・スムーズに参加することができました。

居宅支援事業実績

市町別居宅サービス計画実績 ( )内要支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
まんのう町	39 (4)	38 (5)	41 (4)	43 (4)	41 (4)	39 (4)	39 (4)	39 (3)	40 (4)	38 (4)	36 (4)	37 (4)	470 (48)
計	39 (4)	38 (5)	41 (4)	43 (4)	41 (4)	39 (4)	39 (4)	39 (3)	40 (4)	38 (4)	36 (4)	37 (4)	470 (48)

要介護度別状況 令和2年度末

介護度	作成者数
要支援 1	1
要支援 2	3
要介護 1	15
要介護 2	13
要介護 3	7
要介護 4	2
要介護 5	0
計	41

支給申請の手続き代行及び、認定調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉用具支給申請	0	1	2	0	0	0	3	1	0	0	0	1	8
住宅改修支給申請	0	0	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0	5
介護保険申請代行	0	0	1	0	1	1	2	0	3	2	1	1	12
介護保険認定調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4)その他の事業

1. 給食サービス事業

- ・ふれあいランドにて会食方式で昼食を提供しました。ご利用者同士の交流、電気療法や筋力トレーニングを実施しました。また、買い物に不便をきたしている方が多いため、近隣のスーパーへのお買い物ドライブを実施しました。一人暮らしで不安を抱えている方が多く、生活全般に関する相談、アドバイスを行いました。

2. 生きがい活動支援通所事業

- ・ご利用者が心身状態を維持できるようバイタル測定、電気療法を実施し、健康維持について意識していただけるよう支援しました。また感染対策の中ではありますが、マスク着用、うがい手洗いを徹底し、ご要望に沿って月に1回買い物外出を実施しました。

3. ふれあいランド友の会

- ・一人暮らしで外出手段にお困りの方に、受診を中心に行政手続き、金融機関への送迎を実施しました。ふれあいランドでは、ご利用者同士で交流を図り、会食を行いました。また生活全般に関する相談があれば、アドバイスを行い、不安の解消につなげました。

4. まんのう町琴南高齢者生活福祉センター

- ・入居者の高齢化により健康に不安を持つ方が大半です。朝夕の安否確認、緊急時のナースコールにも迅速に対応しました。また、ご家族、関係機関とも情報共有を密に行いました。近隣に商店がないため、月1回スーパーへの買い物を実施しました。また定期的に防災訓練、設備点検を行い、安心安全な生活環境づくりを行いました。

生きがいデイサービス 利用実績

まんのう町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
利用延人員	14	8	14	14	12	12	12	13	12	7	5	8	131
1日平均利用者	7.0	8.0	7.0	7.0	6.0	6.0	6.0	6.5	6.0	3.5	2.5	4.0	5.8

年間行事等実施状況

	実施内容	備考(詳細)	登録人数
年間	買物支援、電気療法、TV鑑賞、懇親	マルナカまんのう店・デイリーマート マルヨシセンター満濃店等での買物	6

給食サービス・安否確認実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	2	2	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	43
食数	10	11	19	20	16	18	20	20	20	17	16	20	207

ふれあいランド友の会実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	5	4	4	4	4	4	5	4	4	4	3	4	49
食数	54	41	42	45	40	37	44	35	34	29	22	28	451

琴南高齢者生活福祉センター

月別入所世帯(毎月1日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所世帯	10	10	10	8	7	8	6	6	7	7	7	7
人数	11	11	11	9	8	9	7	7	8	8	8	8

入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
退所	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	5

V. グループホーム

よりあい

(1) 認知症対応型共同生活介護事業

感染対策の中でも、社会との関わりを大切にしておくことを考え、新たに宅配パン会社と協議し、週1回の宅配にて、ご利用者が実際に見て手に取って自分で選択して購入できる場を作りました。また、外出行事等は行えませんでした。感染対策にてタブレットを購入したこともあり、職員自身が自分たちでタブレットを活用したレクリエーションを実践するなど、ICTを活用した取り組みを行いました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・その人の想いや意思を確認することを大切に取り組みましたが、受診や買い物などで職員数が限られる場面では、納得されるまで関わるのが困難な場面もありました。
- ・ご利用者の安全に配慮した生活と、職員への連絡事項やホームとしての取り決め等の情報共有に向けた新たな取り組みとして、毎週木曜日に連絡会を行い、グループホームとデイサービスで情報共有しました。
- ・ご家族の面会については、感染症対策期に合わせて、窓越しでの面会や、タブレットを利用したオンライン面会を行いました。また、面会時はタブレットで録画した日常を、ご家族に見ていただき、日頃のケアや生活状況をお伝えしました。

2. 健康と機能維持に向けた関わり

- ・日々のバイタル測定や食事量、水分、排泄量を確認することで、往診や受診時の医師への状態報告に活用し、日常での健康管理について指導や助言をいただきました。
- ・毎日の口腔体操を計画していましたが、職員間で情報共有が不十分であったため、口腔体操が行えていない時がありました。
- ・ノーリフティングケアの習得とリフトの活用については、主任やポジショニング委員会の職員が研修担当者として、個別に研修を行い技術の習得を図りました。

3. 食生活の充実

- ・施設の畑でご利用者と一緒に野菜の植え付けや収穫をし、日々の食材に取り入れました。ご家族やご近所の方々からいただいた野菜や果物も実物をご利用者に見て触れていただき、旬のメニューを味わいました。
- ・毎月第3金曜日に、「おばあちゃんのごはん」としてご利用者に主体的に食事作りに関わっていただいていたのですが、感染対策の時期は中止しました。また、食中毒予防にて検便、食器類の消毒など対策を徹底しました。

4. 適切な相談支援

- ・入所相談では、グループホームと他のサービスとの違いを分かりやすく「利用のしおり」を使って説明しました。
- ・家族会は感染対策にて行えませんでした。毎月のお手紙にて、ご利用者の生活や様子を報告しました。また、不明な点は、電話連絡して直接ご家族にお伝えしました。
- ・ケアプランは、ユニット会等で話し合いを行い、サービス担当者会議を有意義なものにし、



プラン作成に活かしました。

#### 5. 積極的な地域社会との交流

- ・感染対策期にて、地域との直接的な交流は行えない状況でしたが、近隣小学校やこども園への駐車場の貸し出しや、地域の井出ざらいへの参加など、「できない」ではなく、「何ができるか」を念頭に置き活動に取り組みました。
- ・隔月で実施していた運営推進会議は、感染対策期にて会議を開催することはできませんでしたが、文書報告にて、毎回、状況を報告しました。
- ・地域の協力者との防災、避難訓練は感染対策期にて行えませんでした。
- ・「まんまんカフェおよりさん」は、まんのう町と都度協議し、短時間で人数制限を行ったうえで3回実施することができました。久々に顔を合わせた参加者の方たちも「ひさしぶり、元気だった」とおっしゃっており、カフェの大切さを実感しました。

#### 6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・新しく採用された職員や異動で配属された職員に対し、各ユニットの主任と介護課長が定期的に確認しあい、また、その情報は施設長に報告され、よりあい全体でフォローしていきけるようにしました。
- ・職員の提案を大切に、受診時の情報提供シートの作成や、タブレットを利用したレクリエーションの取り組みなど、職員自身が主体的に考えて実践できる環境を整えました。
- ・働きやすい職場環境として、それぞれのユニットで昼休憩の取得に向けた取り組みを行いました。十分に取得できない日もありますが、ユニット職員間でその都度話し合いながら、休憩時間の確保に向けて取り組んでいます。

#### 7. 令和2年度委員会活動

##### ◇研修委員会

- ・研修計画に沿って研修を実施しました。専門的な内容については、各委員会のメンバーと協議し協力して実践することができました。
- ・研修受講者には毎回アンケート提出を依頼しましたが、アンケートからの疑問や提案については答えることができておらず、次年度の課題です。

##### ◇事故防止検討委員会

- ・服薬管理の事故件数ゼロを目標としていましたが、3件の服薬管理に関する事故が発生しました。どの事故も、最初の確認と最後まで服薬確認することができていなかったことが原因でした。その都度ユニット会等で話し合いを行い、服薬準備のチェック表を新たに作成し、また、服薬介助前の声だし確認を徹底しています。
- ・毎月の事故状況を取りまとめてユニット会等にて確認し、今後のケアに活用できるよう取り組みました。その結果として、ヒヤリハットの意識づけができています。

◇苦情対応委員会

- ・年1回の苦情対応に関する研修を実施した他に、それらに関わる権利擁護についても学びました。
- ・今年度は、2件のご意見をいただくことができました、感染対策期であることで直接の面会が困難な中で、状況などを電話でお伝えすることの限界を感じました。ご家族からも、「直接お話させていただいて分かりました」と、やはり、直接ご家族と会ってお話することの大切さを学びました。

◇業務改善委員会

- ・毎年、年2回ご家族アンケートを行っていましたが、感染対策期でもあり、年1回のご家族アンケートとなりました。やはり、面会が困難な状況にて、ご利用者の身体状況や生活ぶりを心配されているご家族が多く、毎月の情報提供の生活の様子にて細かくお伝えするようにしました。
- ・今年度は、地域密着型サービス外部評価を受審しました。感染対策期にて、自己評価の提出と電話による質疑応答となりましたが、外部評価の評価結果としては「職員間のコミュニケーションを重視し、生き生きと働ける職場環境づくりに力を入れている」と評価をいただきました。

◇広報委員会

- ・ホームページの「窓」を、毎月更新することとしていましたが、1月以降は更新が遅れてしまいました。次年度は、広報委員会だけでなく、施設全体で取り組んでいきます。
- ・広報誌「我が家」については年2回、計画的に発行することができました。

◇身体拘束廃止委員会

- ・毎月のユニット会にて事故報告の状況を確認し、身体拘束や虐待につながるような不適切なケアがないかを確認しました。また、研修委員会のメンバーと協力して全体研修を行い、情報共有の大切さや、職員同士の協力や声かけが大切であることを再確認しました。

◇感染症予防対策委員会

- ・感染対策期にて、コロナウイルスについて全体研修を行いました。また、県などから配信される情報についても、随時、職員に周知して感染予防の徹底を図りました。全体周知が必要な情報については、各ユニットに「コロナ感染対策ファイル」を設置し、いつでも確認できるようにしました。
- ・その他の感染対策も同様に「食中毒」「インフルエンザ」の研修もを行い、感染予防を行いました。

◇ポジショニング委員会

- ・福祉用具を活用したノーリフティングケアの取り組みについては、ほぼ全職員が習得できしており、日常のケアの中で活用できています。

- ・職員個々のノーリフティングケア技術や知識の習得に向けては、施設職員の担当者が講師となり、一人ひとり、細かく確認しました。しかし、研修時には実践できていた技術が、日々のケアの中では、急いでいたり最後まで確認が不十分な時もあり、「ヒヤリハット」として報告し、定期的な確認を行いました。

◇労働安全衛生委員会

- ・毎月、計画的に委員会を実施することとしていましたが、不定期開催となりました。交通安全や、感染対策、熱中症予防などの多岐にわたる情報内容を発信し、労働安全衛生につなげました。
- ・働きやすい職場環境の改善として、計画的な有給休暇の取得に向けて、勤務予定表に反映させ計画的に取得することができました。

施設利用状況

	入所	退所					月間 空床率	延べ利用者数
		死亡		長期入 院	施設間 移動	計		
		施設内	病院					
4月	0	0	0	0	0	0	0	540
5月	0	0	0	0	0	0	0	558
6月	0	0	0	0	0	0	0	540
7月	1	0	0	1	0	1	4.1	551
8月	0	0	0	0	0	0	0	558
9月	0	0	0	0	0	0	0	540
10月	0	0	0	0	0	0	0	558
11月	0	0	0	0	0	0	0	540
12月	0	0	0	0	0	0	0	558
1月	0	0	0	0	0	0	0	558
2月	0	0	0	0	0	0	0	504
3月	0	0	0	0	0	0	0	558
計	1	0	0	1	0	1		6563

介護度別	令和2年度末				年間延べ利用者数
	男	女	計	比率	
要介護 1	0	1	1	5.6	251
要介護 2	0	8	8	44.4	2935
要介護 3	1	6	7	38.9	2647
要介護 4	0	1	1	5.6	365
要介護 5	0	1	1	5.6	365
計	1	17	18	100	6563
平均			2.6		

市町別	令和2年度末	年間	
	利用者数	入所数	退所数
まんのう町	18	1	1
計	18	1	1

外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院	0	0	12	16	0	0	0	0	0	0	0	0

年齢分布

年齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男性	0	1	0	0	0	1	78.0	78	78
女性	0	0	11	5	1	17	88.0	101	83
計	0	1	11	5	1	18	87.4		

認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
人数	0	0	0	2	9	5	2	0

入所平均在所期間

男性	6年2か月
女性	4年0か月
全体	4年2か月

## 職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
8月21日	新型コロナウイルス感染症対応力向上研修(管理者向け)オンライン研修	オンライン		施設長	植野 哲男
9月3日	香川短期大学介護実習の講師依頼にて	宇多津町		施設長 介護職員	植野 哲男 矢野 吏香 豊田 珠見
9月11日	社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染症対応研修会オンライン研修	オンライン		施設長	植野 哲男
3月24日	認知症カフェ事業相談員等連絡会	まんのう町		施設長	植野 哲男

## 施設内研修等(防災訓練を含む)

月 日	研修内容	参加人員	講 師
5月27・28日他	新型コロナウイルス研修	23	感染防止委員会
5月中	接遇研修	23	研修委員会
6月25日	夜間想定防災訓練	7	施設長
6月29日	身体拘束研修	23	施設長
6月中	食中毒予防研修	23	感染防止委員会
7月22～30日	事故防止研修	23	事故防止委員会
8・9・10月	ポジショニング研修	23	ポジショニング委員会・主任
9月7・8・9・10・11日	心肺蘇生研修	23	施設長
10月19日他	権利擁護研修	23	施設長
11月9日	シェイクアウト地震行動訓練	12	施設長
10月中	結核研修	23	感染防止対策委員会
10月中	苦情対応研修	23	研修委員会
11月中	インフルエンザ研修	23	感染防止委員会
11月19日他	虐待防止(コミュニケーション)研修	23	施設長
1月中	個人情報・プライバシー保護研修	23	研修委員会
2月中	認知症研修	23	研修委員会
3月29日	日中想定防災訓練	10	施設長

## 実習等受け入れ状況

実習者名(団体名)	期間	実人員	延日数
なし			

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

事業	件数
施設(特養・GH・短期)	102
在宅(通所・居支・その他)	4
計	106

②発生場所別

場所	件数
居室	23
廊下	4
浴室	13
脱衣室	9
ホール	34
トイレ	5
食堂	3
玄関	4
施設外	2
その他	9
計	106

③事故内容別

事故の内容	件数
転倒	30
転落	4
誤飲・誤嚥	0
異食	12
服薬管理	3
自傷行為	0
徘徊	0
入所者間トラブル	0
器物損壊	7
皮下出血	39
紛失	2
金銭管理の事故	0
経管自己抜去	0
送迎・移送中の事故	1
職員の見助中の事故	0
私物返し忘れ	1
表皮剥離	2
その他	5
計	106

④発生時間帯別

時間帯	件数	
朝	8時～10時	9
	10時～12時	24
昼	12時～14時	10
	14時～16時	17
夕	16時～18時	12
	18時～20時	12
夜間	20時～22時	6
	22時～24時	3
	0時～2時	0
	2時～4時	5
早朝	4時～6時	4
	6時～8時	4
計	106	

⑤障害等

障害分類名	件数
骨折	3
打撲	6
皮下出血	41
すり傷	1
裂傷	1
呼吸困難	0
嘔吐	0
表皮剥離	3
精神不安定	0
外傷等なし	26
利用者の物品管理	3
送迎関係	0
服薬・異常なし	3
その他	19
計	106

⑥発生月別

月別	件数
4月	4
5月	9
6月	9
7月	10
8月	6
9月	10
10月	13
11月	9
12月	11
1月	7
2月	10
3月	8
計	106

⑦保険者への報告

内容	件数
入院等継続的な治療が必要となった事故	3
家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
介護上の事故等、その他の事故	0
計	3

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

月別	件数
4月	52
5月	47
6月	54
7月	63
8月	46
9月	49
10月	47
11月	54
12月	64
1月	64
2月	52
3月	52
計	644

## ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関わる事項	2		0		0	2
②個人の嗜好・選択に関わる事項	0		0		0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0		0		0	0
④制度、施策、法律に関わる要望	0		0		0	0
⑤その他	0		0		0	0
合 計	2		0		0	2

## 身体拘束の状況

令和2年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。



## 年間行事一覧

月	日	行事名(内容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	9,10他	庭の桜散歩	16	12	0	0
5	1~22	夏野菜の植え付け	14	11	0	0
6	15~19	あじさいドライブ	7	4	0	0
7	1~7	七夕祭り	18	11	0	0
9	21	敬老の日 お茶会	0	5	0	0
9	28,29	冬~春にかけての野菜の植え付け・種まき	0	15	0	0
10	23、26	スポーツデイ	0	12	0	0
11	13	ミニ運動会	18	0	0	0
10	19、20	さつま芋掘り	11	12	0	0
11	20	交通安全教室	0	6	0	0
12	24、25	クリスマス会会食	18	13	0	0
12	28	お餅つき	7	0	0	0
1	11	鏡開き	18	4	0	0
2	2	節分	18	5	0	0
3	3、4、5	ひなまつり	18	16	0	0

## 月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
施設	おばあちゃんのごはん	毎月第3金曜日	8		ご利用者主体の食事作り
通所	生け花	年2回	11		
	誕生日会	誕生日月	6		
	手作り作品	隔月	11		
	手作りおやつ	隔月	11		

地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
5	10	高篠地区用水路清掃	1	0	高篠地区の住民	11

運営推進会議

月	日	内 容	職員	家族	町・ボランティア・民生委員・本部	かりん	合計
5		第1回運営推進会議(書面報告)	-	-	感染対策にて会議は中止	-	-
7		第2回運営推進会議(書面報告)	-	-	//	-	-
9		第3回運営推進会議(書面報告)	-	-	//	-	-
11		第4回運営推進会議(書面報告)	-	-	//	-	-
1		第5回運営推進会議(書面報告)	-	-	//	-	-

(2) 通所介護事業

デイサービスセンターよりあい

小規模事業所ならではの穏やかな環境を活かし、その方にあった畑作業や、家事作業を一緒に行いました。感染対策期にて、家事作業で、特に調理のお手伝いを制限したこともありますが、代替として作品作りや、みんなで楽しめるカルタやトランプなど、3密を予防した中でも、交流できる工夫を行いました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・家庭的な雰囲気の中で、お一人お一人がリラックスして過ごしていただけるよう、ご利用者からの個別の相談には別室でお話を伺ったり、日頃の様子や、ご利用者からの不安などを聴き取った際は、ご家族や担当ケアマネジャーにお伝えし、情報共有を行いました。
- ・送迎時のご家族との会話を大切に、送迎時等は、連絡手帳の情報提供だけでなく、ご利用時の様子や、気づいたことがあれば、ご家族に細やかにお伝えしました。その結果、医療機関に受診し治療から治癒につながる方もおられました。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・日常生活の中での活動を生活リハビリとしてとらえて実践しました。畑作業では、過去の生活を活かした機能訓練となり、調理のお手伝いでは、昔を思い出すことによって認知面でのリハビリにつなげました。
- ・福祉用具を活用した取り組みについては、車椅子ご利用者の変換棒やクッションを取り入れ、安楽な体位を行いました。不足している物品などは、グループホームにも相談し、連携して物品を活用することができました。

## 地域密着型通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	22	21	22	23	21	22	22	21	23	21	20	23	261
利用実人員	13	11	11	11	10	11	11	12	12	12	11	11	136
利用延人数	125	114	125	122	108	112	117	109	119	108	102	119	1380
利用率	56.8	54.2	56.8	53.0	51.4	50.9	53.1	51.9	51.7	51.4	51.0	51.7	52.8

## 介護度別利用状況

介護度	令和2年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	0	0	0%
要支援2	0	0	0%
要介護1	4	520	37.7%
要介護2	5	546	39.6%
要介護3	0	31	2.2%
要介護4	1	232	16.8%
要介護5	1	51	2.7%
合計	11	1380	100%

## VI. デイサービスセンター

おひいさん

(1) 通所介護事業

デイサービスセンターおひいさん

新型コロナウイルスの地域での感染動向も注視しながら、ご利用者への情報提供、感染予防の啓発を行いました。特にデイサービス内での集団感染の予防はもちろん、昨年から引き続き介護医療連携の視点で個々のご利用者の健康管理を重点に置きました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ 日常生活の中での活動（家事や菜園での活動、旬の花や小枝を使った花活け、食卓を囲んでの賑やかな団らん、趣味の話題など）を取り入れながら楽しく感じられることを一つずつ増やす活動をしてきました。
- ・ 医療介護連携を意識し、急ぐ場面においてはご本人・ご家族了解のもと主治医や薬剤師への照会・相談等を実施し担当ケアマネジャーとも情報共有しました。
- ・ 高齢化に伴う心身機能の低下などにより、引きこもりがちになられる方にサービスの利用を促し、また利用の継続をしていただけるように、民家型小規模の特徴を生かしたサービスの提供をしました。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・ ご利用者個々のやりたいと思える希望に沿った脳トレ、童謡や唱歌を口ずさみながらのリズム体操、自然な笑い声を意図的に引き出すことでの認知機能への刺激、呼吸機能向上につながる口腔体操、家事場面や歩行機会を活かした機能訓練を実施しました。
- ・ ポジショニングの動作原理を学びながら、ご利用者が本来の安楽な姿勢に近づけられるような声掛けや支援、また職員へは無理な体勢での介護の防止に取り組みました。

3. 地域社会との関係を活かしたサービスの提供

- ・ 感染防止のため運営推進会議は開催できませんでしたが、地域のメンバーの方々には、期間の事業内容を報告させていただきました。
- ・ 開設から継続実施している近所の方のサロン「お茶会」は、ご利用者との直接の接触がないため、11月と3月に感染予防をしながら開催しました。参加者各々が近隣ではありませんが久しぶりに会える機会が持てました。また地域の近況の話題の提供もあり、限られた回数ですが充実した内容となりました。
- ・ 昨年までは近隣のNPO法人くすくすから定期的に子供たちの訪問がありましたが、今年は感染予防もあり中止しました。子供たちが散歩のため事業所近くを通った折は、窓越しではありましたが互いに手を振りあったり、声掛けしたりと交流する機会も持てました。また、子供たちに庭先を散歩の休憩場所として活用してもらいました。
- ・ 感染防止のため、傾聴ボランティアは中止させていただきました。

4. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・ 時間差出勤の職員が多いため情報の共有には特に気を配り、連絡ノート、情報共有ファイ

ルなど継続的に改善を重ね、チームワークが発揮できる環境を作りました。

- ・個々の職員の希望や体調変化時にも「お互い様」の気持ちで職員間で仕事を融通しあい、ご利用者に関われるようチームワークを大切にしました。

### 地域密着型通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	22	21	22	23	21	22	22	21	20	20	20	23	257
利用実人員	20	21	20	23	22	23	22	24	23	22	24	26	270
利用延人数	131	138	149	154	157	173	153	138	134	141	148	173	1789
利用率	59.5	65.7	67.7	67.0	74.8	78.6	69.5	65.7	67.0	70.5	74.0	75.2	69.6

### 介護度別利用状況

介護度	令和2年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	8	244	13.6%
要支援2	10	660	36.9%
要介護1	5	494	27.6%
要介護2	1	223	12.5%
要介護3	1	33	1.8%
要介護4	1	135	7.5%
要介護5	0	0	0%
合計	26	1789	100%

デイサービス年間行事等実績

月 日	行 事 内 容	備 考(詳細)	参加人員
4/6~5/15(11日間)	春野菜・花の栽培	手入れ・収穫・花摘み・花生け・散歩・休憩	60
4/29~5/5	鯉のぼり作り	折り紙で、鯉のぼりの飾り作り	25
5/7	新緑野外お茶会	庭の新緑と花に囲まれて、お茶会(午前中のおやつ飲み物)	7
5/15,18	押し花作り	季節の花で押し花作り	14
5/25~6/19	あじさいの飾り作り	折り紙で、あじさいの飾り作り	12
6/8~11/18(28日間)	夏野菜・花の栽培	種蒔き・苗植え付け・支柱たて・誘引・収穫・花摘み・花生け・散歩・休憩	90
7/1	おひいさん開所記念	行事食、おやつ	9
7/1~7	七夕	折り紙で、七夕の飾りを作り、笹に飾りつけ 行事食・おやつ	26
7/8,8/5,11/4	旬の味覚を味わう会	手作りおやつ:ジャム作り(ブルーベリー、ブラックベリー)	21
7/16	旬の味覚を味わう会	手作りおやつ:シソジュース作り	7
9/21~23	敬老会	行事食、手作りカードプレゼント、抹茶の会	37
10/2	旬の味覚を味わう会	手作りおやつ:柿の渋抜き	2
10/19,21,23	秋の味覚を味わう会	さんま炭焼き(10/21野外食)(10/19,23室内実施)	37
12/9~11	冬春野菜・花の栽培	種蒔き・苗と球根植え付け	26
12/8~23	クリスマス飾り作り	折り紙等で、クリスマスの飾り作り	29
12/23~25	クリスマス・忘年会	行事食:鍋、ケーキ、手作りカードプレゼント	36
1/4~8	絵馬づくり		28
1/11~13	鏡開き	手作りおやつ:ぜんざい	34
2/2~4	節分	豆まき、行事食:イワシ料理、巻き寿司	37
2/15~18,3/3	ひな人形作り	折り紙で、ひな人形の飾り作り	23
3/1~3	ひな祭り	行事食・おやつ:ちらし寿司 ひなあられ 甘酒	26
3/24,26	冬春野菜・花の栽培	手入れ・収穫・花摘み・花生け・散歩・休憩	15
3/24~26	お彼岸・桜のお花見食事会	庭の桜の下で野外食:手作りぼた餅のお花見弁当	41

レクリエーションメニュー(月間・週間・毎日)

内 容	実施日	備 考(詳細)
体操・口腔体操・リズム体操	毎日	
創作活動	ご利用者の希望に応じて毎日	スケッチ・切り絵・塗り絵・折り紙・貼り絵 など
運動レクリエーション	〃	ゴムボール投げ、ボーリング など
脳トレーニング	〃	計算・間違い探し・ジグソーパズル・日記・ゲームなど
歌謡曲・落語・漫談・浪花節	〃	リクエストにより視聴
調理補助 昼食の下ごしらえ	ご利用者に応じて 随時	収穫野菜のそうじ、いりこ袋つめ など
洗濯干し・たたみ	〃	
庭で植物栽培、散歩、花生け	3月~10月ご利用者に応じて 随時	花・野菜の植付け、手入れ、収穫、花摘み、花生け、散歩、休憩(お茶)
お誕生日のお祝い	ご利用者のお誕生日前後の利用日	手作り誕生日カードのプレゼント



施設内研修等（防災訓練を含む）

月 日	研修内容	参加人員	講 師
4月16日	摂食・嚥下研修	2	看護職員
5月14日	防災訓練（水害想定）	3	管理者
6月18日	感染症予防研修	5	看護職員
6月18日	認知症研修	1	管理者
7月16日	防災訓練（火災想定）	1	管理者
8月20日	身体拘束、高齢者虐待	3	管理者
9月17日	事故防止研修	2	管理者
10月20日	防災訓練 シェイクアウト（地震対応）	3	管理者
11月19日	感染症予防研修	4	看護職員
12月17日	交通安全	4	管理者
12月18日-25日	個人情報・プライバシー研修	4	管理者
2月18日	アセスメント・モニタリング研修	4	管理者
3月18日	防災訓練（火災想定）	3	管理者

実習等受け入れ状況

※令和2年度の実習生の受け入れはありませんでした。

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

活動名	日時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
活動なし				

地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
2	24	児童デイサービスの子供達との交流		5	NPO法人 子育てネットくすくす	6

カフェ・お茶会

月	日	種類	内容	参加 人数	ボラン ティア数
11	28	お茶会	近隣地域の方々のサロン。14:00～15:00 無料 介護のお困りごとやご要望をお聞きし、情報提供する場として実施	7	0
3	27	〃	〃	8	0

職員研修派遣状況

日付	研 修 名	県 内	県 外	役 職	氏 名
1月21日	介護離職防止・介護疲れ予防	普通寺市		管理者	高田雅史
2月5日	アドバンスケアプランニング	普通寺市		管理者	高田雅史

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

事業	件数
施設(特養・GH・短期)	0
在宅(通所・居支・その他)	7
計	7

②発生場所別

場所	件数
居室	0
廊下	1
浴室	1
脱衣室	0
ホール	2
トイレ	0
食堂	0
玄関	1
施設外	0
その他	2
計	7

③事故内容別

事故の内容	件数
転倒	2
転落	0
誤飲・誤嚥	0
異食	0
服薬管理	1
自傷行為	0
徘徊	0
入所者間トラブル	0
器物損壊	1
皮下出血	1
紛失	0
金銭管理の事故	0
経管自己抜去	0
送迎・移送中の事故	0
職員の見守り中の事故	0
私物返し忘れ	1
表皮剥離	1
その他	0
計	7

④発生時間帯別

時間帯	件数	
朝	8時 ~ 10時	2
	10時 ~ 12時	2
昼	12時 ~ 14時	0
	14時 ~ 16時	2
夕	16時 ~ 18時	1
	18時 ~ 20時	0
夜間	20時 ~ 22時	0
	22時 ~ 24時	0
	0時 ~ 2時	0
	2時 ~ 4時	0
早朝	4時 ~ 6時	0
	6時 ~ 8時	0
計	7	

⑤障害等

障害分類名	件数
骨折	0
打撲	0
皮下出血	1
すり傷	0
裂傷	0
呼吸困難	0
嘔吐	0
表皮剥離	1
精神不安定	0
外傷等なし	2
利用者の物品管理	3
送迎関係	0
服薬・異常なし	0
その他	0
計	7

⑥発生月別

月別	件数
4月	0
5月	0
6月	2
7月	0
8月	2
9月	0
10月	1
11月	1
12月	1
1月	0
2月	0
3月	0
計	7

⑦保険者への報告

内容	件数
入院等継続的な治療が必要となった事故	0
家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
介護上の事故等、その他の事故	0
計	0

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

月別	件数
4月	5
5月	7
6月	5
7月	6
8月	4
9月	5
10月	5
11月	4
12月	5
1月	6
2月	6
3月	6
計	64

ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関わる事項			1		0	1
②個人の嗜好・選択に関わる事項			0		0	0
③財産管理、遺産、遺言等			0		0	0
④制度、施策、法律に関わる要望			0		0	0
⑤その他			0		0	0
合 計			1			1

身体拘束の状況

令和2年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も継続して取り組みます。